



**InterSafe Personal v2.3 ユーザーズガイド**

## 目次

<b>1. はじめに</b>	<b>3</b>
<b>1-1. システムの必要条件</b>	<b>4</b>
<b>1-2. システム概要</b>	<b>5</b>
InterSafe Personal について	5
<b>1-3. InterSafe Personal 利用者ごとの機能</b>	<b>6</b>
利用者ごとのフィルタリング	6
利用者ごとのスケジュール設定	7
「利用者認証」	8
<b>2. インストールとアンインストール</b>	<b>9</b>
<b>2-1. インストール</b>	<b>10</b>
<b>2-2. アンインストール</b>	<b>14</b>
<b>2-3. フィルタリングの開始と終了</b>	<b>17</b>
フィルタリングの開始	17
初回起動時の場合	17
2 回目以降の起動時の場合	18
エラーダイアログが表示された場合	19
フィルタリングの終了	21
<b>3. 管理画面の説明</b>	<b>22</b>
<b>3-1. 管理画面の起動</b>	<b>23</b>
管理画面について	23
<b>3-2. [現在の状態]画面</b>	<b>24</b>
[現在の状態]画面について	24
[現在の状態]画面で操作できる処理	24
<b>3-3. [使い方の設定]画面</b>	<b>25</b>
[使い方の設定]画面について	25
[使い方の設定]画面で操作できる処理	25
<b>3-4. [システム]画面</b>	<b>26</b>
[システム]画面について	26
[システム]画面で操作できる処理	26
<b>4. フィルタリングルール設定</b>	<b>27</b>
<b>4-1. ルールの設定</b>	<b>28</b>
初期設定のフィルタリングルール	28
[ルールの設定]画面について	31
[ルールの設定]画面で操作できる処理	31
新しいフィルタリングルールの追加	32
既存のフィルタリングルールの設定内容の変更	35
既存のフィルタリングルールの削除	38
<b>4-2. 特定 URL の登録</b>	<b>40</b>
[URL の登録]画面について	40

[URL の登録]画面で操作できる処理	40
フィルタリング対象にする URL の追加	41
登録した URL の変更	44
登録した URL の削除	47
<b>4-3. 利用者の追加・変更・削除</b>	<b>49</b>
[利用者ごとに設定]画面について	49
[利用者ごとに設定]画面で操作できる処理	49
利用者を追加する	50
利用者の設定を変更する	54
利用者を削除する	56
<b>4-4. 利用者を切り替えて使用する</b>	<b>57</b>
利用者認証の設定	57
管理画面から利用者を切り替える	58
タスクトレイのアイコンから利用者を切り替える	59
「利用者認証」ダイアログで利用者を切り替える	59
<b>5. [システム]画面</b>	<b>60</b>
<b>5-1. [システム設定]画面について</b>	<b>61</b>
[システム設定]画面で操作できる処理	61
HTTP プロキシサーバの設定	62
Web アクセス履歴設定	63
Web アクセス履歴の表示	64
Web アクセス履歴から URL を登録する	65
Web アクセス履歴から URL を変更する	66
自動起動設定の変更	66
<b>5-2. 管理画面パスワードの変更</b>	<b>68</b>
[認証設定]画面について	68
パスワード設定変更	69
<b>5-3. [サポート情報]画面について</b>	<b>70</b>
<b>6. よくある質問</b>	<b>71</b>
<b>6-1. 一般的な質問</b>	<b>72</b>
<b>6-2. 機能に関する質問</b>	<b>73</b>
<b>6-3. その他の質問</b>	<b>75</b>

# 1

## 1.はじめに

---

ここでは、InterSafe Personal のシステム必要条件、システムの概要と利用者ごとの機能についてご説明します。

● システムの必要条件	4
● システム概要	5
InterSafe Personal について	5
● InterSafe Personal 利用者ごとの機能	6
利用者ごとのフィルタリング	6
利用者ごとのスケジュール設定	7
「利用者認証」	8

## 1-1. システムの必要条件

InterSafe Personal をインストールするには、次のオペレーティングシステム(OS)、ハードウェアの要件を満たす環境が必要です。

次の OS が快適に動作するパソコン

OS(※1) : Microsoft Windows Vista Home Basic / Home Premium / Business / Ultimate (Service Pack 2 以上推奨)  
Microsoft Windows 7 Home Premium / Professional / Ultimate (Service Pack 1 以上推奨)

CPU(※2) : Intel Pentium / Celeron 系 800MHz 以上 のマイクロプロセッサ (ただし OS の動作要件を満たすこと)

メモリ : 256 MB 以上 (ただし OS の動作要件を満たすこと)

HDD(※3) : 空き容量 120 MB 以上

ディスプレイ解像度 : 解像度 800 x 600 以上で、High Color (65536 色) 以上をサポート

ブラウザ : 制限なし

(Microsoft Internet Explorer 7.0 / 8.0 / 9.0、Firefox18.0 推奨) その他のブラウザにも対応可能ですが、上記のブラウザ以外をご利用の場合は、閲覧禁止機能をご利用いただけない場合があります。

その他(※4) : インターネット接続環境

InterSafe Personal では、シリアル番号の認証を定期的に検査しています。これらの認証、および他の Web ページの閲覧などの機能の利用には、インターネット接続環境が必要です。

※1 : 記載されている OS は、すべて日本語版をご利用ください。

※2 : 64 ビット版 OS は Windows 7 のみ対応しています。

※3 : RAID には対応しません。

※4 : インターネット接続環境とは、InterSafe Personal をインストールするパソコンでブラウザからの URL アクセスが可能であるとともに、DNS による名前解決が可能な環境のことです。

IPv6 環境には対応していません。

ドメインユーザで Windows にログオンした場合は、管理画面を表示できないことがあります。

## 1-2. システム概要

### InterSafe Personal について

#### ■ InterSafe Personal とは

InterSafe Personal は、ご利用のパソコンから有害なサイト(ホームページ)、閲覧の必要のないサイトへのインターネットアクセスを制限するためのプログラムです。

InterSafe Personal では、このようなアクセス規制のことを「フィルタリング」と呼びます。フィルタリングを実施するためには、複雑な操作の必要なアプリケーションもありますが、InterSafe Personal を使用するとフィルタリングを利用者ごとに簡単に設定することができます。

また、InterSafe Personal のカテゴリを選択するだけで、各国で日々更新されている最新の有害サイト情報を基に、フィルタリングすることができます。

#### ■ InterSafe Personal のアクセス規制と規制画面

図 1-2-1

InterSafe Personal を利用するとアクセス不可に設定したサイトには、接続しないようにすることができます。



## 1-3.InterSafe Personal利用者ごとの機能

### 利用者ごとのフィルタリング

InterSafe Personal では、パソコンを利用する利用者ごとに、フィルタリングを設定することができます。

利用者は[利用者ごとに設定]画面で追加、削除、変更することができます。

利用者の切り替えは、パスワードで管理します（「利用者を切り替えて使用する」57 ページ参照）。

また、設定した時間ごとに現在使用している利用者のパスワードを入力して、他の利用者による利用を制限します。

図 1-3-1



- ・利用者ごとのフィルタリングの設定（「利用者を追加する」50 ページ参照）
- ・利用者ごとのフィルタリングの設定を変更する（「利用者の設定を変更する」54 ページ参照）
- ・利用者を削除する（「利用者を削除する」56 ページ参照）

## 利用者ごとのスケジュール設定

InterSafe Personal では、パソコンを利用する利用者ごとに、フィルタリングを行うスケジュールを設定できます。

スケジュールは[利用者ごとに設定]画面で設定、変更できます。

スケジュールは、曜日別・時間帯別に「フィルタリング有効」、「フィルタリング無効」、「Web 閲覧禁止」のいずれかを設定することができます。

図 1-3-2



- ・スケジュールの設定（「利用者を追加する」50 ページ参照）
- ・利用者を切り替える（「利用者を切り替えて使用する」57 ページ参照）



## 「利用者認証」

複数の利用者ごとに登録したフィルタリング設定を使い分けるためには、どの利用者が Web 閲覧を行うか確認する「利用者認証」機能を使用します。

利用者認証は、「利用者認証」ダイアログに、利用者名とパスワードを入力して[認証]ボタンをクリックして行います。

「利用者認証」ダイアログに利用者名とパスワードを入力せずに[認証なし]ボタンをクリックした場合は、すべての利用者が初期設定の利用者「認証なし」に登録された内容で、Web 閲覧を行います。

初期設定の利用者「認証なし」に登録された内容は、以下のとおりです。

- すべての曜日・時間帯に Web 閲覧が可能
- 「子ども」用フィルタリングを使用

なお、「認証なし」に登録された内容は、「利用者の設定を変更する」(54 ページ参照)の手順で変更できます。

- ・ 利用者の切り替え(「利用者を切り替えて使用する」 57 ページ参照)

# 2

## 2.インストールとアンインストール

---

ここでは、InterSafe Personal のインストールとアンインストールについてのご説明と、フィルタリングの開始と終了についてご説明します。

● インストール	10
● アンインストール	14
● フィルタリングの開始と終了	17
フィルタリングの開始	17
初回起動時の場合	17
2回目以降の起動時の場合	18
エラーダイアログが表示された場合	19
フィルタリングの終了	21

## 2-1.インストール

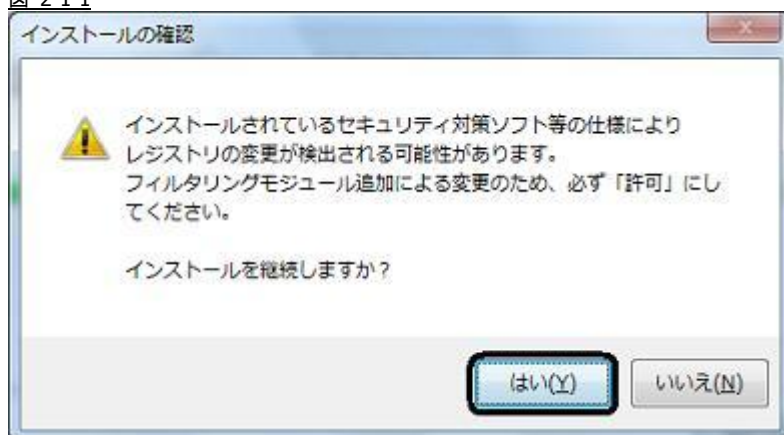
ダウンロードした InterSafe Personal 用「setup.exe」を使用して、以下のインストール手順を実行してください。

- 1) インストールを実行するパソコンに管理者(Administrator)権限を持つアカウントでログオンします。

● ウィルス検知ソフトなど、ログオン時に自動的に起動するアプリケーションはすべて終了してください。

- 2) Windows の[スタート] → [ファイル名を指定して実行]を選択し、[参照]ボタンをクリックします。  
ダウンロードファイルの保存先フォルダ内の「setup.exe」を選択後、[開く]ボタンをクリックします。最後に、[OK]ボタンをクリックします。
- 3) ユーザーアカウント制御の通知画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。
- 4) インストールの確認画面が表示されます。内容を確認し、[はい]ボタンをクリックします。

図 2-1-1



- 5) セットアッププログラムが起動します。[次へ]ボタンをクリックします。

図 2-1-2



- 6) 「使用許諾契約」画面が表示されます。

使用許諾契約の内容に同意しインストールを続行する場合は、[はい]ボタンをクリックします。

図 2-1-3



- 7) ユーザ情報を入力する画面が表示されます。ユーザ名、会社名、シリアル番号を入力後、[次へ]ボタンをクリックします。

図 2-1-4



- ユーザ名には、任意の文字列を入力することができます。インストールをした方がわかるような名前を入力してください。会社以外で使用する場合は、任意の文字列で使用する場所がわかるような名前を入力してください。

- 8) 管理画面パスワードを入力する画面が表示されます。管理パスワードは、設定を変更する際に必要となります。

半角 6 文字以上 12 文字以内で入力します。管理画面パスワードを入力後、[次へ]ボタンをクリックします。

図 2-1-5



表 2-1-1

項目	利用可能文字	入力
パスワード	半角大小英字、数字、記号 (!"#\$%()*+,-./:;<=>?@[ ]^_`{ }~)	必須



**ご注意**

管理パスワードは、お客様がInterSafe Personalの「フィルタリングルールの作成」、「フィルタリングの開始/終了」、アンインストールなどの様々な作業で必要になります。お手元に控えていただき保管をお願いいたします。

- 9) プロキシサーバ設定を入力する画面が表示されます。

インターネット接続においてプロキシサーバへの接続が必要な場合は、ここで例にしたがってプロキシサーバのホスト名(FQDN)、またはIPアドレス、およびポート番号を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。プロキシサーバを使用していない場合は、何も入力しないで[次へ]ボタンをクリックします。

図 2-1-6



- プロキシサーバを使用しているかどうか不明の場合は、何も入力しないで[次へ]ボタンをクリックします。

- 10) セットアップタイプを選択する画面が表示されます。

パソコンが起動した直後からフィルタリングするか設定をします。

パソコン起動時にフィルタリングを有効にする場合は、[有効にする]を選択します。

パソコン起動時にフィルタリングを有効にしない場合は、[有効にしない]を選択します。

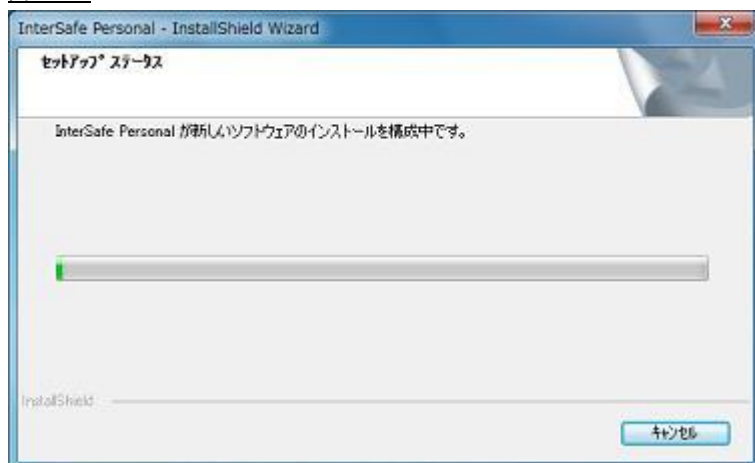
いずれかを選択後、[次へ]ボタンをクリックします。

図 2-1-7



11) インストールファイルのコピーが開始されます。

図 2-1-8



● インストールを中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。

12) インストールの完了画面が表示されます。

InterSafe Personal のインストールを有効にするために、パソコンを再起動する必要があります。

「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]ボタンをクリックします。

図 2-1-9



インストールを終了します。

## 2-2.アンインストール

InterSafe Personal をアンインストール(削除)する場合は、Windows のコントロールパネルから、[プログラムのアンインストール]を使用します。

● InterSafe Personal をアンインストールするためには、管理パスワードが必要となります。

1) インストールを実行するパソコンに管理者(Administrator)権限を持つアカウントでログオンします。

● 制限ユーザではアンインストールを行うことができません。アンインストールを実行するパソコンに管理者(Administrator)権限を持つアカウントでログオンしてください。

2) [スタート] → [コントロールパネル]を選択します。

● ご利用の Windows によっては、[スタート] → [設定] → [コントロールパネル]を選択します。

3) [コントロールパネル]画面から、[プログラムのアンインストール]のアイコンをダブルクリックして、[プログラムと機能]画面を表示します。

図 2-2-1



● ご利用の Windows によっては[アプリケーションの追加と削除] または[プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。

4) [InterSafe Personal]を選択して、[アンインストール]ボタンをクリックします。

図 2-2-2



● ご利用の Windows によっては[変更と削除]ボタンをクリックします。

- 5) 管理画面パスワードを入力する画面が表示されます。管理画面パスワードを入力後、[次へ]ボタンをクリックします。

図 2-2-3



- 6) [ファイル削除の確認]画面が表示されます。

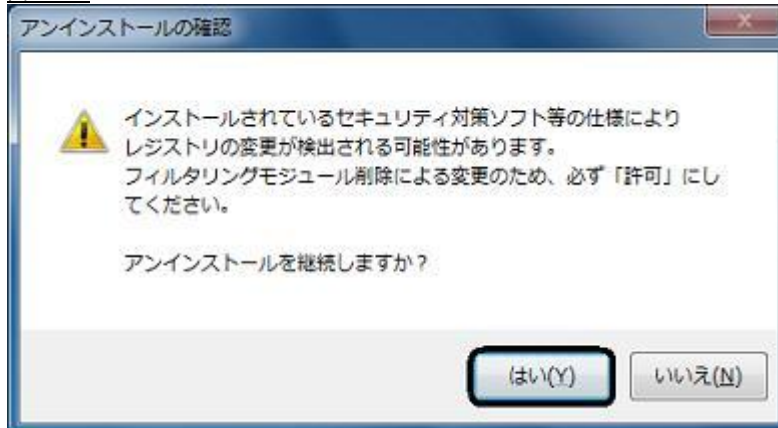
[OK]ボタンをクリックすると InterSafe Personal が自動的に停止され、InterSafe Personal のアンインストールが開始します。

図 2-2-4



- 7) アンインストールの確認画面が表示されます。内容を確認し、[はい]ボタンをクリックします。

図 2-2-5





8) アンインストールの完了画面が表示されます。

InterSafe Personal のアンインストールを有効にするために、パソコンを再起動する必要があります。

「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]ボタンをクリックします。

図 2-2-6



アンインストールを終了します。

## 2-3.フィルタリングの開始と終了

### フィルタリングの開始

フィルタリングの開始は、InterSafe Personal 管理画面より行います。

また、初回の起動時と初回以降の起動時と操作が異なります。

- 制限ユーザでは管理画面の起動を行うことができません。パソコンに管理者(Administrator)権限を持つアカウントでログオンしてください。

### 初回起動時の場合

- 1) InterSafe Personal をインストール後、再起動を行うとシリアル番号の登録完了画面が表示されます。

[OK]ボタンをクリックします。

図 2-3-1



- 2) タスクトレイの InterSafe Personal アイコンを確認します。

タスクトレイの InterSafe Personal アイコンが隠れている場合は、タスクトレイを広げて InterSafe Personal アイコンを表示します。

- ・ InterSafe Personal アイコンが「OFF」(フィルタリング無効)を示している場合は、アイコン上でクリックをし、「3)」へ進みます。
- ・ 「ON」(フィルタリング有効)の場合は、すでにフィルタリングは開始されています。

図 2-3-2



- タスクトレイに InterSafe Personal アイコンが表示されていない場合は、[スタート] → [すべてのプログラム]([プログラム]) → [InterSafe Personal] → [管理画面]を選択します。
- InterSafe Personal アイコンが「警告」を示している場合は、ネットワークの状態およびパスワードを確認してください。

[アイコン一覧]

表 2-3-1

状態	アイコン	説明
ON		フィルタリングが開始されている状態を示します
OFF		フィルタリングが開始されていない状態を示します
警告		通信状態などにより認証が行えない状態を示します

- 3) パスワードの入力画面が表示されます。管理画面パスワードを入力後、[OK]ボタンをクリックします。

図 2-3-3



- 管理画面パスワードはインストール時に入力した管理パスワードを入力してください。

4) InterSafe Personal 管理画面が表示されます。フィルタリングを開始する場合は、[ON]ボタンをクリックします。

図 2-3-4



## 2 回目以降の起動時の場合

1) タスクトレイの InterSafe Personal アイコンを確認します。

タスクトレイの InterSafe Personal アイコンが隠れている場合は、タスクトレイを広げて InterSafe Personal アイコンを表示します。

- ・InterSafe Personal アイコンが「OFF」(フィルタリング無効)を示している場合は、アイコン上でクリックをし、「2)」へ進みます。
- ・「ON」(フィルタリング有効)の場合は、すでにフィルタリングは開始されています。

図 2-3-5



- アイコンの状態はアイコン一覧(17 ページ)を参照してください。
- タスクトレイに InterSafe Personal アイコンが表示されていない場合は、[スタート] → [プログラム]([すべてのプログラム]) → [InterSafe Personal] → [管理画面]を選択します。
- InterSafe Personal アイコンが「警告」を示している場合は、ネットワークの状態およびパスワードを確認してください。

2) パスワードの入力画面が表示されます。管理画面パスワードを入力後、[OK]ボタンをクリックします。

図 2-3-6



- 3) InterSafe Personal 管理画面が表示されます。フィルタリングを開始する場合は、[ON]ボタンをクリックします。

図 2-3-7



## エラーダイアログが表示された場合

- 1) 下記のエラーダイアログが表示されます。

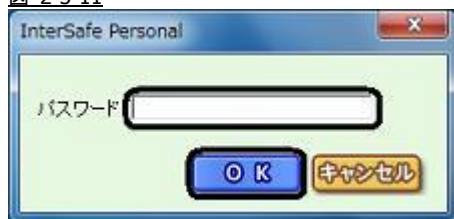
表 2-3-2

エラーダイアログ画面	説明
<p>図 2-3-8</p>	<p>インストール時に設定したパスワードと違うパスワードで管理画面を起動しようとした場合に表示されます。</p> <p>手順 "2)"へ進みます。</p>
<p>図 2-3-9</p>	<p>すでに他のパスワードで使用されている有効なシリアル番号を、違うパスワードで他のマシンにインストールした場合に表示されます。</p> <p>手順 "3)"へ進みます。</p>
<p>図 2-3-10</p>	<p>インストール時に入力したシリアル番号が不正な場合に表示されます。</p> <p>手順 "3)"へ進みます。</p>

- 2) エラーダイアログ(図 2-3-8)の[OK]ボタンをクリックすると、下記の管理画面パスワードを入力するダイアログが表示されます。

インストール時に設定したパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

図 2-3-11



- [OK]ボタンをクリックし、認証が失敗した場合は、手順「1)~2)」を繰り返します。

- 3) エラーダイアログの[OK]ボタンをクリックすると、下記の管理画面パスワードを入力するダイアログが表示されます。

ここで、正しい管理画面パスワード、シリアル番号を入力後、[設定]ボタンをクリックします。

図 2-3-12



- ・ [設定]ボタンをクリックし、認証が成功した場合、下記のダイアログが表示されます。

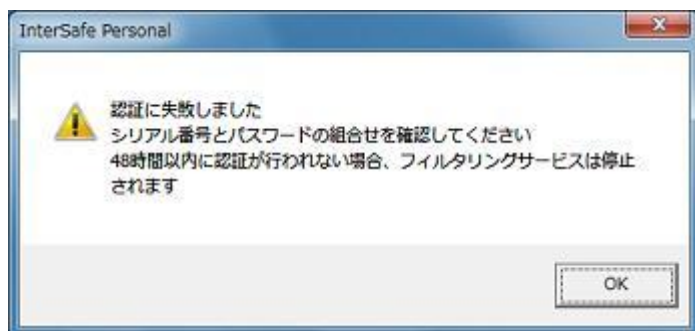
図 2-3-13



- [設定]ボタンをクリックし、認証が失敗した場合は、手順「1)~2)」を繰り返します。

- ・ [キャンセル]ボタンをクリックした場合、下記のダイアログが表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

図 2-3-14



- 上記画面が表示されると、48 時間後自動的にフィルタリングサービスは停止されます。

- 4) 「2 回目以降の起動時の場合」(18 ページ)の手順「1)~3)」を行います。

## フィルタリングの終了

InterSafe Personal は InterSafe Personal 管理画面を起動して、「OFF」をクリックすることでフィルタリングを終了します。

InterSafe Personal 管理画面を起動後、InterSafe Personal を終了させるため、2段階の操作となります。

- 1) タスクトレイの InterSafe Personal アイコンを確認します。

タスクトレイの InterSafe Personal アイコンが隠れている場合は、タスクトレイを広げて InterSafe Personal アイコンを表示します。

- ・ InterSafe Personal アイコンが「ON」(フィルタリング有効)を示している場合は、アイコン上でクリックをし、「2)」へ進みます。
- ・ 「OFF」(フィルタリング無効)の場合は、すでにフィルタリングは終了しています。

図 2-3-15



- アイコンの状態はアイコン一覧(17 ページ)を参照してください。

- 2) パスワードの入力画面が表示されます。

管理画面パスワードを入力後、[OK]ボタンをクリックします。

図 2-3-16



- 3) InterSafe Personal 管理画面が表示されます。

フィルタリングを終了する場合は、[OFF]ボタンをクリックします。

図 2-3-17



# 3

## 3.管理画面の説明

---

InterSafe Personal の管理画面では、フィルタリングの開始/終了の他に、フィルタリングルールの選択/作成など、様々な処理を設定することができます。

ここでは、管理画面についてご説明します。

● <b>管理画面の起動</b>	<b>23</b>
管理画面について	23
● <b>[現在の状態]画面</b>	<b>24</b>
[現在の状態]画面について	24
[現在の状態]画面で操作できる処理	24
● <b>[使い方の設定]画面</b>	<b>25</b>
[使い方の設定]画面について	25
[使い方の設定]画面で操作できる処理	25
● <b>[システム]画面</b>	<b>26</b>
[システム]画面について	26
[システム]画面で操作できる処理	26

## 3-1.管理画面の起動

InterSafe Personal 管理画面を表示するには、「初回起動時の場合」17 ページまたは「2 回目以降の起動時の場合」18 ページの手順を実行し、管理画面を起動します。

- 管理画面起動時のパスワードには、インストールの際に設定した管理画面パスワードを入力してください。また、制限ユーザでは管理画面の起動を行うことができません。パソコンに管理者(Administrator)権限を持つアカウントでログオンしてください。

### 管理画面について

InterSafe Personal の管理画面には、[現在の状態]・[使い方の設定]・[システム]の3つのタブがあります。各タブをクリックして画面を切り替え、フィルタリングルールやシステム設定を変更することができます。

図 3-1-1



表 3-1-1

No.	項目	説明
①	[現在の状態]	フィルタリングの開始・終了を切り替えます。
②	[使い方の設定]	フィルタリングルールの使い方を設定します。
③	[システム]	各種システム設定、パスワードの更新を行います。



## 3-2.[現在の状態]画面

InterSafe Personal の管理画面を起動すると、最初に[現在の状態]画面が表示されます。

他の画面が表示されている場合は、[現在の状態]タブをクリックすると、[現在の状態]画面を表示することができます。

### [現在の状態]画面について

図 3-2-1



表 3-2-1

No.	項目	説明
①	利用者表示	現在の利用者を表示します。
②	[ON]	フィルタリングを開始します。
③	[OFF]	フィルタリングを終了します。
④	コメント欄	設定の内容、項目・画面の説明を表示します。
⑤	[終了]	管理画面を閉じます。

### [現在の状態]画面で操作できる処理

- ・フィルタリングの開始(「フィルタリングの開始について」17 ページ参照)
- ・フィルタリングの終了(「フィルタリングの終了について」21 ページ参照)
- ・管理画面の終了

## 3-3.[使い方の設定]画面

InterSafe Personal 管理画面の[使い方の設定]タブをクリックすると、[使い方の設定]画面を表示することができます。

[使い方の設定]画面では、利用者ごとのフィルタリングルールの選択、フィルタリングの設定内容の変更、およびフィルタリングの対象にする特定の URL を登録ができます。

### [使い方の設定]画面について

[使い方の設定] 画面には、[利用者ごとに設定]・[ルールの設定]・[URL の登録]の3つのタブがあります。

各タブをクリックして画面を切り替えます。

図 3-3-1



表 3-3-1

No.	項目	説明
①	[利用者ごとに設定]	利用者を登録し、利用者ごとのフィルタリングを設定します。
②	[ルールの設定]	フィルタリングルールを設定します。
③	[URL の登録]	フィルタリングの対象とする URL の登録を行います。

### [使い方の設定]画面で操作できる処理

- ・ 利用者の登録、利用者ごとのフィルタリングの設定(「利用者を追加する」 50 ページ参照)
- ・ 利用者の切り替え(「利用者を切り替えて使用する」 57 ページ参照)
- ・ 利用者ごとのフィルタリングの設定を変更する(「利用者の設定を変更する」 54 ページ参照)
- ・ 利用者を削除する(「利用者を削除する」 56 ページ参照)
- ・ フィルタリングルールの追加(「新しいフィルタリングルールの追加」 32 ページ参照)
- ・ フィルタリングルールの設定内容の変更(「既存のフィルタリングルールの設定内容の変更」 35 ページ参照)
- ・ フィルタリングルールの削除(「既存のフィルタリングルールの削除」 38 ページ参照)
- ・ フィルタリング対象 URL の追加(「フィルタリング対象にする URL の追加」 41 ページ参照)
- ・ 登録した URL の変更(「登録した URL の変更」 44 ページ参照)
- ・ 登録した URL の削除(「登録した URL の削除」 47 ページ参照)
- ・ 管理画面の終了

## 3-4.[システム]画面

InterSafe Personal の[システム]画面では、ご利用のパソコンの環境に応じて、接続設定、Web アクセス履歴設定、自動起動設定を変更することができます。また、管理画面パスワード変更を行うことができます。

### [システム]画面について

[システム]画面には、[システム設定]タブ、[認証設定]タブ、[サポート情報]の3つのタブがあります。

各タブをクリックして画面を切り替えます。

図 3-4-1

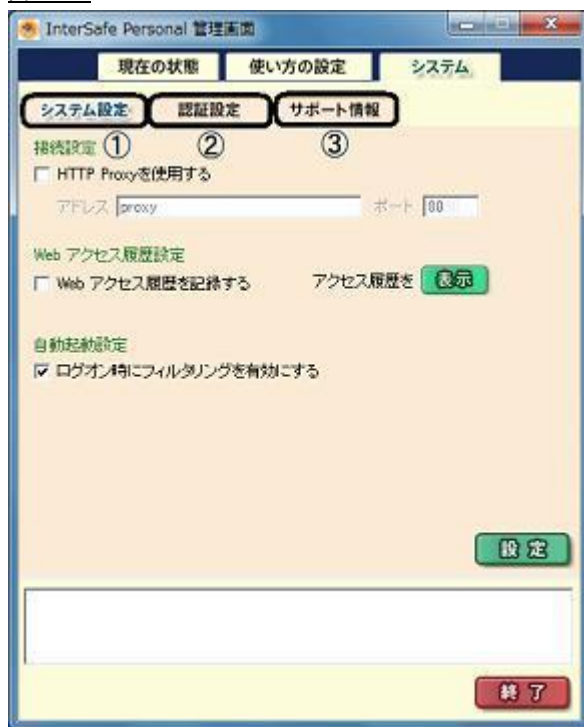


表 3-4-1

No.	項目	説明
①	[システム設定]	接続設定、自動起動設定を行います。
②	[認証設定]	管理パスワードの変更を行います。
③	[サポート情報]	サポート情報を表示します。

### [システム]画面で操作できる処理

- ・ 接続設定：HTTP プロキシサーバの設定(「HTTP プロキシサーバの設定」62 ページ参照)
- ・ Web アクセス履歴の設定(「Web アクセス履歴設定」63 ページ参照)
- ・ アクセス履歴の表示 (「Web アクセス履歴の表示」64 ページ参照)
- ・ 自動起動設定(「自動起動設定の変更」66 ページ参照)
- ・ 管理パスワードの変更(「管理画面パスワードの変更」68 ページ参照)
- ・ 管理画面の終了

# 4

## 4.フィルタリングルール設定

---

利用者ごとにフィルタリングを行うには、最初にルールを設定を行います。

ここでは、ルール設定、フィルタリングの設定方法についてご説明します。

● <b>ルールの設定</b>	<b>28</b>
初期設定のフィルタリングルール	28
[ルールの設定]画面で操作できる処理	31
新しいフィルタリングルールの追加	32
既存のフィルタリングルールの設定内容の変更	35
既存のフィルタリングルールの削除	38
● <b>特定 URL の登録</b>	<b>40</b>
[URL の登録]画面について	40
[URL の登録]画面で操作できる処理	40
フィルタリング対象にする URL の追加	41
登録した URL の変更	44
登録した URL の削除	47
● <b>利用者の追加・変更・削除</b>	<b>49</b>
[利用者ごとに設定]画面について	49
[利用者ごとに設定]画面で操作できる処理	49
利用者を追加する	50
利用者の設定を変更する利用者を削除する	56
● <b>利用者を切り替えて使用する</b>	<b>57</b>
利用者認証の設定	57
管理画面から利用者を切り替える	58
タスクトレイのアイコンから利用者を切り替える	59
「利用者認証」ダイアログで利用者を切り替える	59

## 4-1.ルールの設定

### 初期設定のフィルタリングルール

InterSafe Personal には、76 のカテゴリについて、あらかじめ次の 3 つのフィルタリングルールが準備されています。

- 子ども
- 未成年
- 成人

これらのフィルタリングルールは、初期設定では個々のルールに規制するカテゴリが設定されています。管理画面で各内容を設定してください。設定方法は、「既存のフィルタリングルールの設定内容の変更」(35 ページ)を参照してください。

フィルタリングルールの選択、追加については、「利用者を追加する」(50 ページ)、「新しいフィルタリングルールの追加」(32 ページ)を参照してください。

3 つのフィルタリングルールでは、初期設定では以下のカテゴリが許可項目になっています。

#### ■ 子ども

表 4-1-1

カテゴリ	サブカテゴリ
コミュニケーション	メッセージャー、ウェブメール、IT 掲示板
スポーツ	プロスポーツ、スポーツ一般、レジャー
旅行	観光情報・旅行商品、公的機関による観光情報、公共交通、宿泊施設
趣味	音楽、占い、タレント・芸能人、食事・グルメ、娯楽一般
ニュース	ニュース一般

#### ■ 未成年

表 4-1-2

カテゴリ	サブカテゴリ
金融	金融レート・投資アドバイス、金融商品・サービス
ゲーム	オンラインゲーム、ゲーム一般
ショッピング	IT 関連ショッピング
コミュニケーション	メッセージャー、ウェブメール、メールマガジン・ML、IT 掲示板
ダウンロード	ダウンロード
職探し	転職・就職、キャリアアップ、サイドビジネス
スポーツ	プロスポーツ、スポーツ一般、レジャー
旅行	観光情報・旅行商品、公的機関による観光情報、公共交通、宿泊施設
趣味	音楽、占い、タレント・芸能人、食事・グルメ、娯楽一般
宗教	伝統的な宗教
政治活動・政党	政治活動・政党
広告	広告・バナー、懸賞
ニュース	ニュース一般

■ 成人

表 4-1-3

カテゴリ	サブカテゴリ
金融	金融レート・投資アドバイス、投資商品の購入、保険商品の申込、金融商品・サービス
ギャンブル	ギャンブル一般、宝くじ・スポーツくじ
ゲーム	オンラインゲーム、ゲーム一般
ショッピング	オークション、IT 関連ショッピング
コミュニケーション	ウェブチャット、メッセージャー、ウェブメール、メールマガジン・ML、掲示板、IT 掲示板、SNS・ブログ
ダウンロード	ダウンロード、プログラムダウンロード、動画配信
職探し	キャリアアップ、サイドビジネス
グロテスク	グロテスク
話題	イベント、話題
成人嗜好	アルコール製品、水着・下着・フェチ画像、文章による性的表現、コスプレ
オカルト	オカルト
ライフスタイル	同性愛
スポーツ	プロスポーツ、スポーツ一般、レジャー
旅行	観光情報・旅行商品、公的機関による観光情報、公共交通、宿泊施設
趣味	音楽、タレント・芸能人、娯楽一般
宗教	伝統的な宗教、宗教一般
政治活動・政党	政治活動・政党
広告	広告・バナー、懸賞
ニュース	ニュース一般

- その他のカテゴリは、すべて規制に設定されています。

設定を変更する場合は、「既存のフィルタリングルールの設定内容の変更」(35 ページ)を参照してフィルタリングルールを変更してください。

InterSafe Personal のカテゴリは以下に分類されています。

表 4-1-4

カテゴリ	サブカテゴリ
ユーザ設定	ユーザ設定 1、ユーザ設定 2、ユーザ設定 3、ユーザ設定 4、ユーザ設定 5 "[ユーザ設定]カテゴリは、既存のカテゴリ以外で独自のカテゴリを設定する場合に選択します。InterSafe Personal に最初から設定されている 71 のカテゴリには分類されない、ユーザ独自のカテゴリとして URL を登録したい場合にご利用ください。"
不法	違法と思われる行為、違法と思われる薬物、不適切な薬物利用
主張	軍事・テロ・過激派、武器・兵器、誹謗・中傷、自殺・家出、主張一般
アダルト	性行為、ヌード画像、性風俗、アダルト検索・リンク集
セキュリティ	ハッキング、不正コード配布、公開プロキシ
出会い	出会い・異性紹介、結婚紹介
金融	金融レート・投資アドバイス、投資商品の購入、保険商品の申込、金融商品・サービス
ギャンブル	ギャンブル一般、宝くじ・スポーツくじ
ゲーム	対戦型ゲーム、ゲーム一般
ショッピング	オークション、通信販売一般、不動産販売・賃貸、IT 関連ショッピング
コミュニケーション	ウェブチャット、メッセージャー、ウェブメール、メールマガジン・ML、掲示板、IT 掲示板
ダウンロード	ダウンロード、プログラムダウンロード、ストレージサービス
職探し	転職・就職、キャリアアップ、サイドビジネス
グロテスク	グロテスク
話題	イベント、話題
成人嗜好	娯楽誌、喫煙、飲酒、アルコール製品、水着・下着・フェチ画像、文章による性的表現、コスプレ
オカルト	オカルト
ライフスタイル	同性愛
スポーツ	プロスポーツ、スポーツ一般、レジャー
旅行	観光情報・旅行商品、公的機関による観光情報、公共交通、宿泊施設
趣味	音楽、占い、タレント・芸能人、食事・グルメ、娯楽一般
宗教	伝統的な宗教、宗教一般
政治活動・政党	政治活動・政党
広告	広告・バナー、懸賞
ニュース	ニュース一般

## [ルールの設定]画面について

[ルールの設定]画面では、[利用者ごとに設定]画面で選択するフィルタリングルールを追加、削除、フィルタリングの設定内容を変更することができます。

### ■ [使い方の設定]画面 - [ルールの設定]画面

図 4-1-1

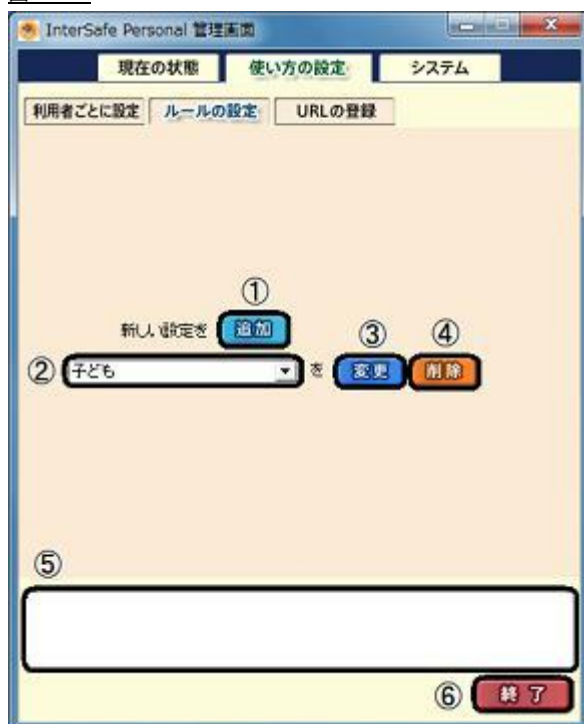


表 4-1-5

No.	項目	説明	初期設定
①	[追加]	追加の場合クリックすると、画面が切り替わります。	—
②	ルールの選択	変更・削除の対象とするフィルタリングルールを選択します。 ルール: [子ども、未成年、成人]	子ども
③	[変更]	変更の場合クリックすると、画面が切り替わります。	—
④	[削除]	クリックすると、②で選択したフィルタリングルールを削除します。	—
⑤	コメント欄	設定内容、項目・画面の説明を表示します。	—
⑥	[終了]	管理画面を閉じます。	—

## [ルールの設定]画面で操作できる処理

- ・フィルタリングルールの追加(「新しいフィルタリングルールの追加」 32 ページ参照)
- ・フィルタリングルールの設定内容の変更(「既存のフィルタリングルールの設定内容の変更」 35 ページ参照)
- ・フィルタリングルールの削除(「既存のフィルタリングルールの削除」 38 ページ参照)
- ・管理画面の終了



## 新しいフィルタリングルールの追加

1) [追加]ボタンをクリックします。

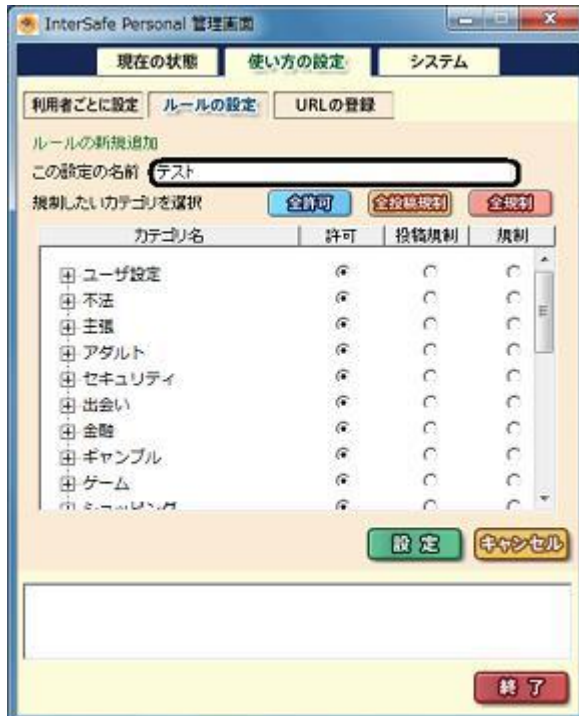
図 4-1-2



2) [追加]画面に切り替わります。

[この設定の名前]ボックスに設定名を入力します。

図 4-1-3



● 設定名は、半角 20 文字、または全角 10 文字以内で入力します。

● [この設定の名前]ボックスに設定した名前が [利用者ごとに設定]画面で選択するフィルタリングルール名になります。

3) 各カテゴリの「許可」、「投稿規制」、または「規制」ボタンをオンにして、規制方法を設定します。

「投稿規制」をオンにすると、通常の Web 閲覧は可能ですが、掲示板などへの 64Byte 以上のデータ送信が規制されます。

図 4-1-4

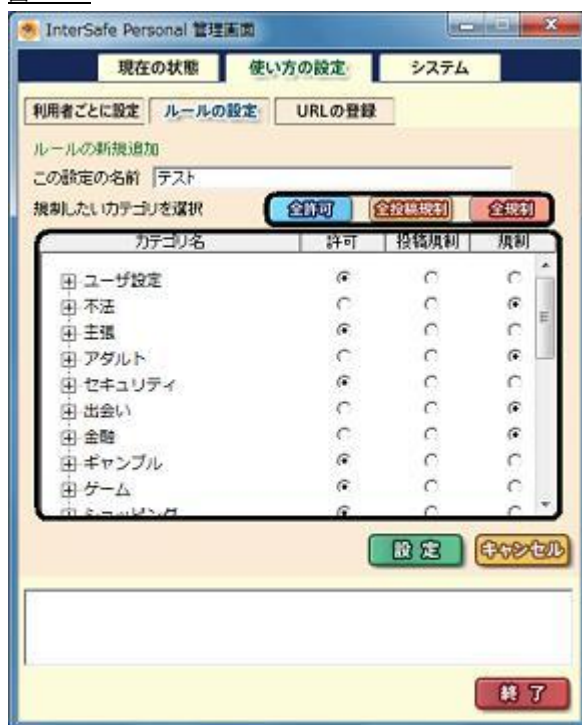


表 4-1-6

ボタン	説明
全許可	すべて許可する
全投稿規制	すべての投稿を規制する
全規制	すべて規制する

各カテゴリの先頭にある「+」アイコンをクリックすると、サブカテゴリ(図 4-1-6 参照)が表示され、サブカテゴリの規制方法を選択することができます。

・メインカテゴリのみを表示した場合

図 4-1-5

カテゴリ名	許可	投稿規制	規制
⊕ ユーザ設定	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⊕ 不法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⊕ 主簿	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⊕ アダルト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⊕ セキュリティ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⊕ 出会い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⊕ 金融	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⊕ ギャンブル	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⊕ ゲーム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

・メインカテゴリ、サブカテゴリを表示した場合

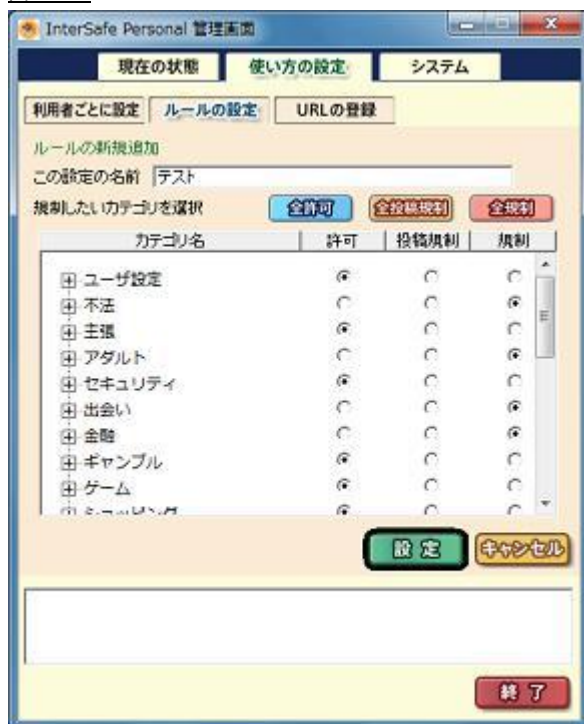
図 4-1-6

カテゴリ名	許可	投稿規制	規制
⊖ コミュニケーション	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ウェブチャット	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
メッセージャー	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ウェブメール	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
メールマガジン・ML	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
掲示板	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
IT掲示板	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⊖ ダウンロード	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ダウンロード	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
プログラムダウンロード	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

● [ユーザ設定]カテゴリは、[URL の登録]画面で設定したカテゴリです。[URL の登録]画面については、「[URL の登録]画面について」(40 ページ)を参照してください。

- 4) 設定内容を確認し、[設定]ボタンをクリックします。

図 4-1-7



- [キャンセル]ボタンをクリックすると、追加処理を中止し、[ルールの設定]画面に戻ります。

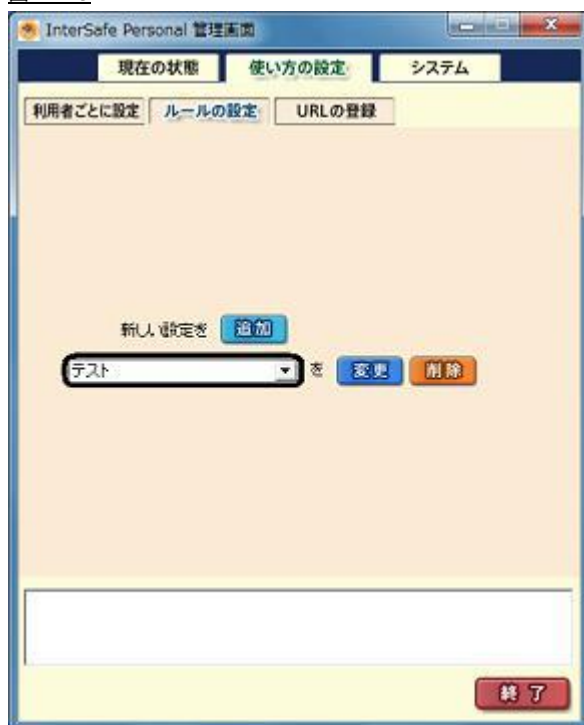
- 5) メッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

図 4-1-8



- 6) [変更]画面から、[ルールの設定]画面に戻ります。  
追加したルールが「ルールの選択」リストボックスに表示されます。

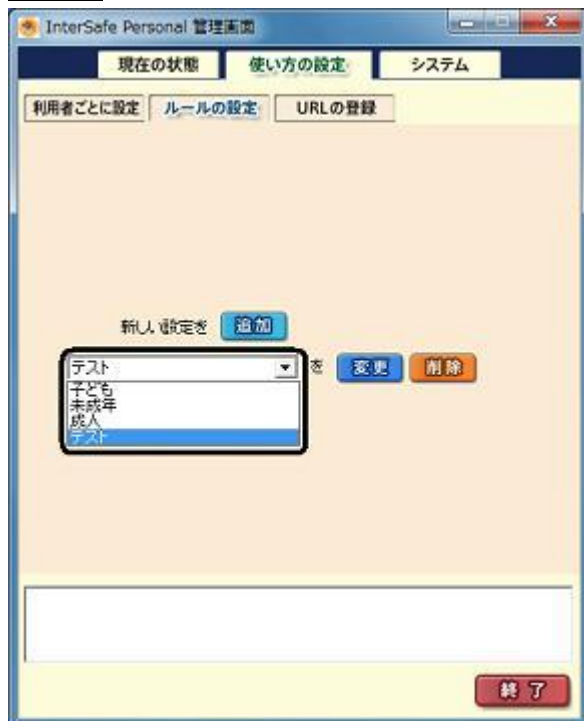
図 4-1-9



### 既存のフィルタリングルールの設定内容の変更

- 1) 「ルールの選択」リストボックスから、変更するフィルタリングルールを選択します。

図 4-1-10



- [子ども、未成年、成人]の初期設定のフィルタリングルールを変更する場合は、フィルタリングルール名の変更が必要になります。初期設定のフィルタリングルール名を変更することはできません。

2) [変更]ボタンをクリックします。

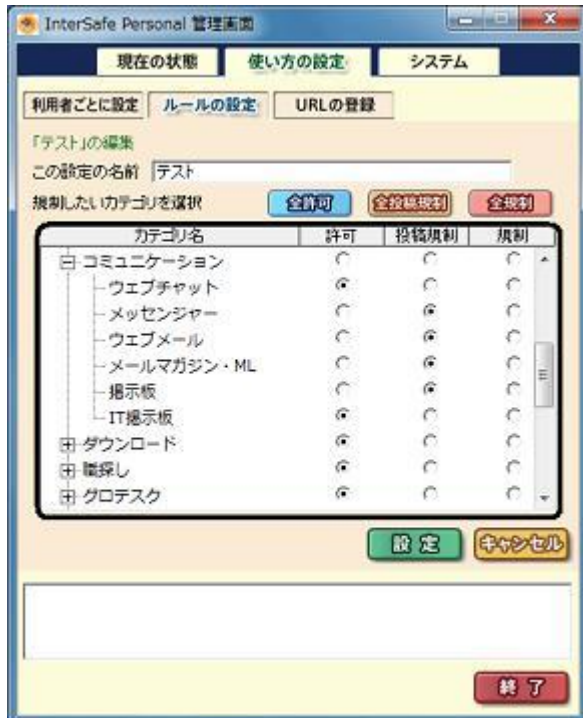
図 4-1-11



3) [変更]画面に切り替わります。

各カテゴリの「許可」、「投稿規制」、または「規制」ボタンをオンにして、規制方法を設定します。各カテゴリの先頭にある「+」アイコンをクリックすると、サブカテゴリが表示され、サブカテゴリの規制方法を選択することができます。

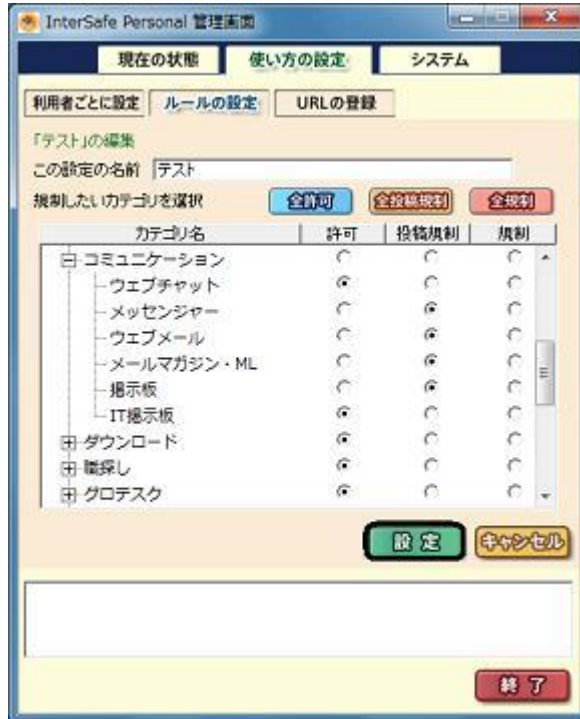
図 4-1-12



● [ユーザ設定]カテゴリは、[URLの登録]画面で設定したカテゴリです。[URLの登録]画面については、「[URLの登録]画面について」(40 ページ)を参照してください。

- 4) 設定内容を確認し、[設定]ボタンをクリックします。

図 4-1-13



- [キャンセル]ボタンをクリックすると、変更処理を中止し、[ルールの設定]画面に戻ります。

- 5) メッセージが表示されます。

[OK]ボタンをクリックします。[変更]画面から、[ルールの設定]画面に戻ります。

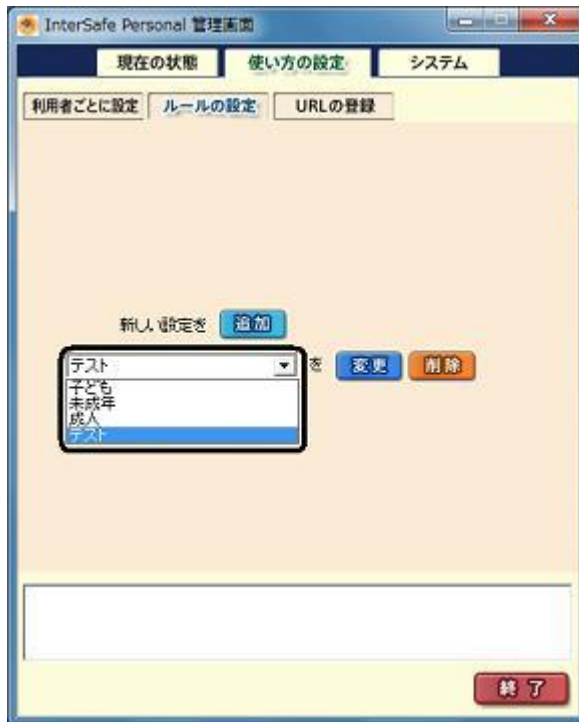
図 4-1-14



## 既存のフィルタリングルールの削除

- 1) 「ルールの選択」リストボックスから、削除するフィルタリングルールを選択します。

図 4-1-15



- [子ども、未成年、成人]の初期設定のフィルタリングルールを削除することはできません。

- 2) [削除]ボタンをクリックします。

図 4-1-16



3) 選択したフィルタリングルールの削除確認メッセージが表示されます。

[はい]ボタンをクリックします。

図 4-1-17



● 選択したフィルタリングルールの削除確認メッセージ(図 4-1-174-1-17)で、[いいえ]ボタンをクリックすると、削除処理を中止します。

4) 確認メッセージが表示されます。

[OK]ボタンをクリックします。

図 4-1-18





## 4-2. 特定URLの登録

### [URLの登録]画面について

[URLの登録]画面では、フィルタリングの対象にする特定のURLを登録することができます。

#### ■ [使い方の設定]画面 - [URLの登録]画面

図 4-2-1



表 4-2-1

No.	項目	説明
①	登録 URL 一覧	登録した URL を一覧に表示します。
②	[追加]・[変更]・[削除]	目的に応じてクリックします。 [追加]、[変更]の場合は、[カテゴリ選択]などが使用可能になります。
③	[カテゴリを選択]・URL 欄	登録するカテゴリ、URL を設定します。[追加]、[変更]の場合に使用します。
④	[キャンセル]・[設定]	②で設定した内容を取り消し、または設定します。
⑤	コメント欄	設定内容、項目・画面の説明を表示します。
⑥	[終了]	管理画面を閉じます。

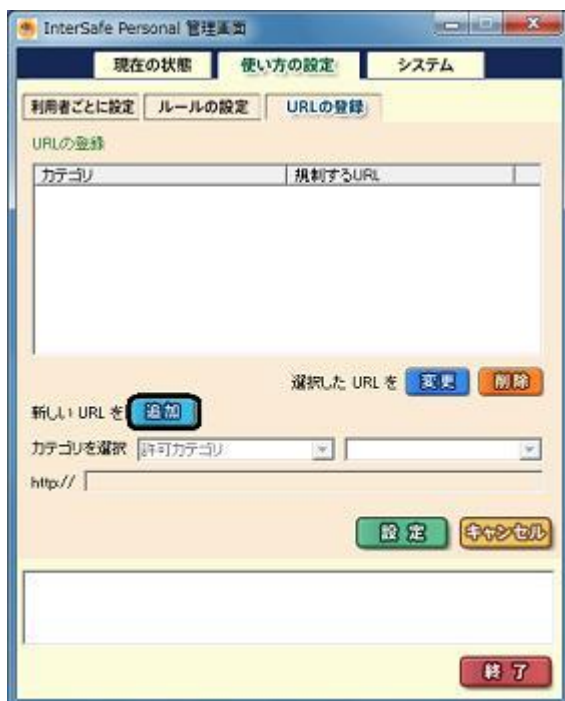
### [URLの登録]画面で操作できる処理

- ・フィルタリング対象 URL の追加(「フィルタリング対象にする URL の追加」41 ページ参照)
- ・登録した URL の変更(「登録した URL の変更」44 ページ参照)
- ・登録した URL の削除(「登録した URL の削除」47 ページ参照)
- ・管理画面の終了

## フィルタリング対象にする URL の追加

1) [追加]ボタンをクリックします。

図 4-2-2



2) [カテゴリ選択]リストボックスから、登録する URL の属するカテゴリを選択します。

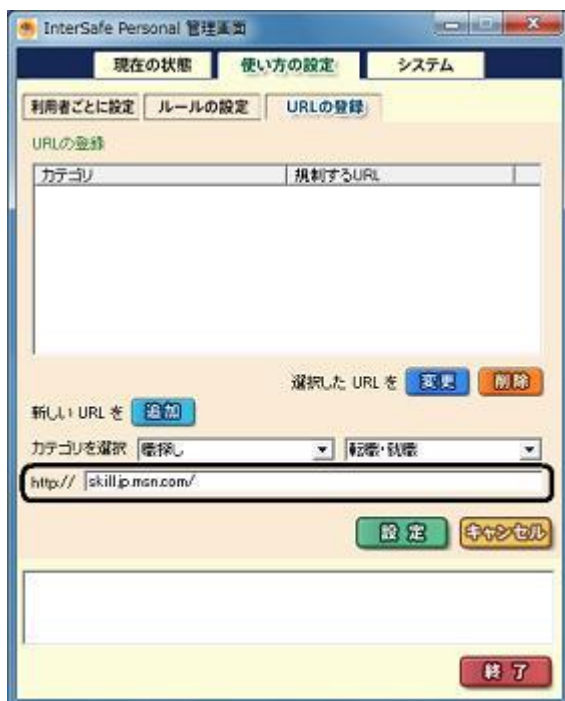
図 4-2-3



● [ユーザ設定]カテゴリは、既存のカテゴリ以外で独自のカテゴリを設定する場合に選択します。(「4-1.ルールの設定」28 ページ参照)

- 3) 追加する URL を入力します。  
フィルタリング対象プロトコルは HTTP のみです。

図 4-2-4



- URL の登録では「http://」ではじまる URL のみ登録可能です。

- 4) 入力した URL を確認して、[設定]ボタンをクリックします。

図 4-2-5



- [キャンセル]ボタンをクリックすると、追加処理を中止します。

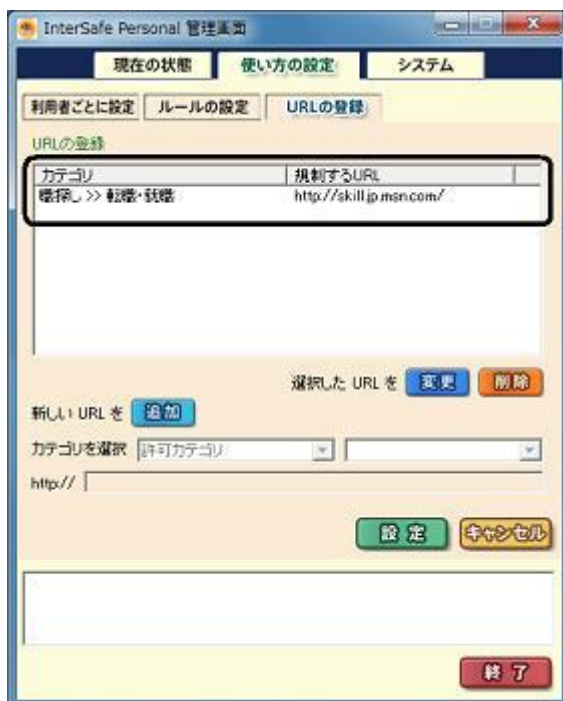
- 5) メッセージが表示されます。  
[OK]ボタンをクリックします。

図 4-2-6



- 6) 登録 URL 一覧に、追加した URL が表示されます。

図 4-2-7

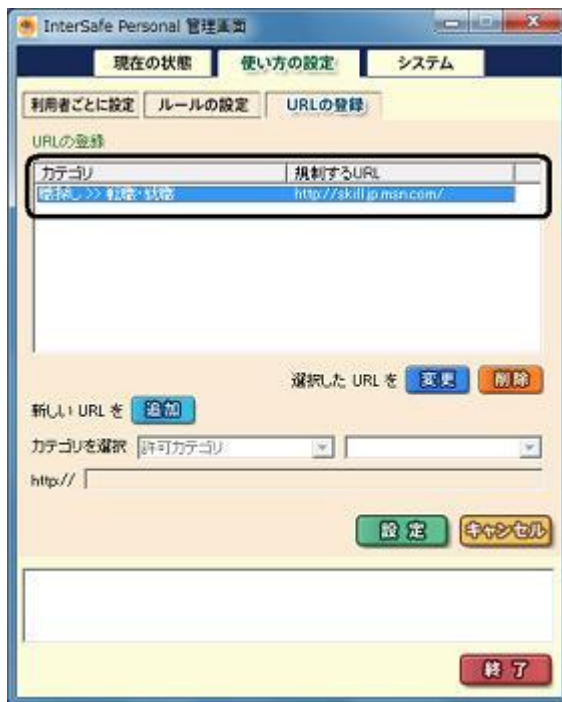


## 登録した URL の変更

例) 職探し>>転職・就職で登録していた URL(<http://skill.jp.msn.com/>)のカテゴリを、職探し>>キャリアアップに変更する場合

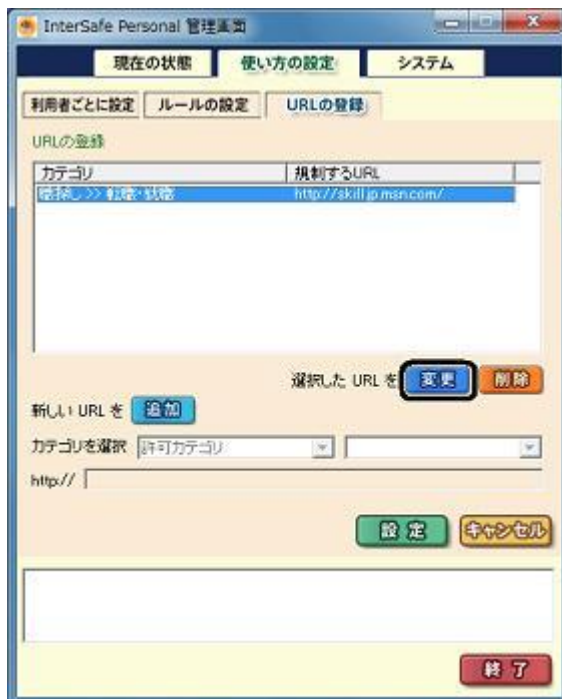
- 1) 登録 URL 一覧から、変更する URL をクリックします。

図 4-2-8



- 2) [変更]ボタンをクリックします。

図 4-2-9



3) カテゴリ、URL を変更します。

図 4-2-10



● ここでは、例としてサブカテゴリのみを変更していますが、同時に URL を変更することもできます。

4) 変更内容を確認して、[設定]ボタンをクリックします。

図 4-2-11



● [キャンセル]ボタンをクリックすると、変更処理を中止します。

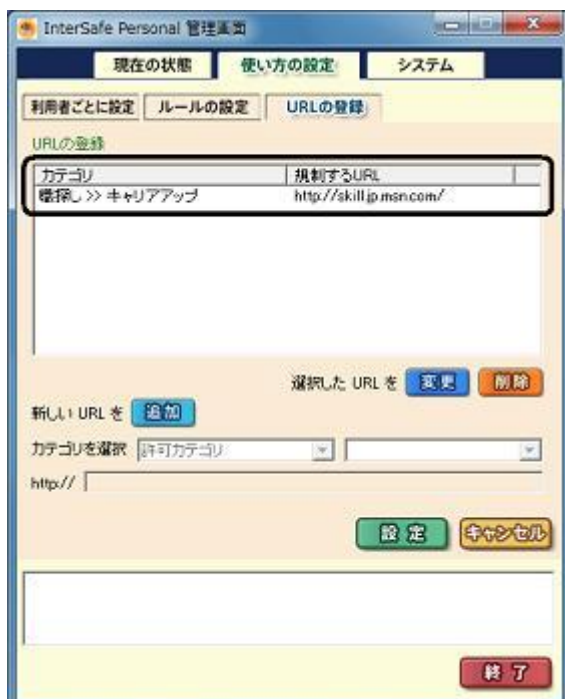
- 5) メッセージが表示されます。  
[OK]ボタンをクリックします。

図 4-2-12



- 6) 登録 URL 一覧に、変更した URL が表示されます。

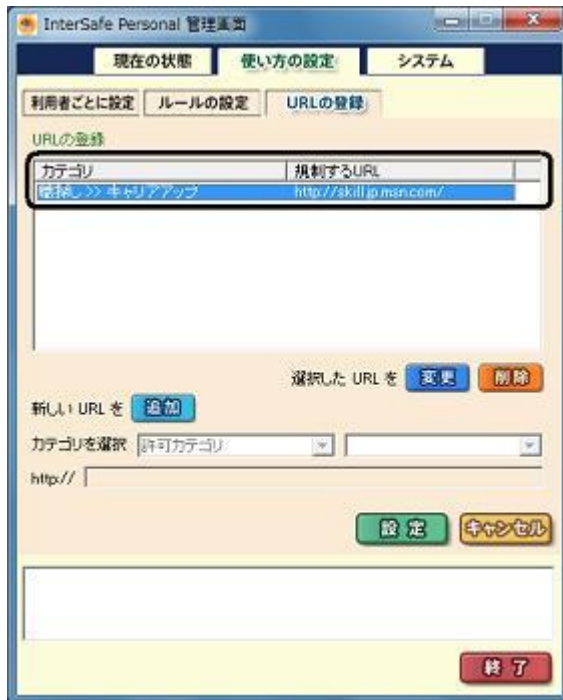
図 4-2-13



## 登録した URL の削除

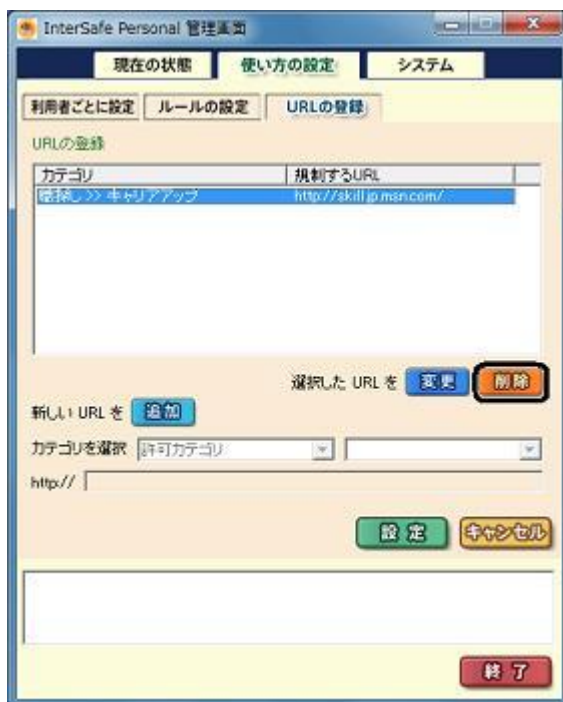
- 1) 登録 URL 一覧から、削除する URL をクリックします、

図 4-2-14



- 2) [削除]ボタンをクリックします。

図 4-2-15





3) 選択した URL の削除確認メッセージが表示されます。

[はい]ボタンをクリックします。

図 4-2-16



● 選択した URL の削除確認メッセージ(図 4-2-16)で、[いいえ]ボタンをクリックすると、削除作業を中止します。

4) 確認メッセージが表示されます。

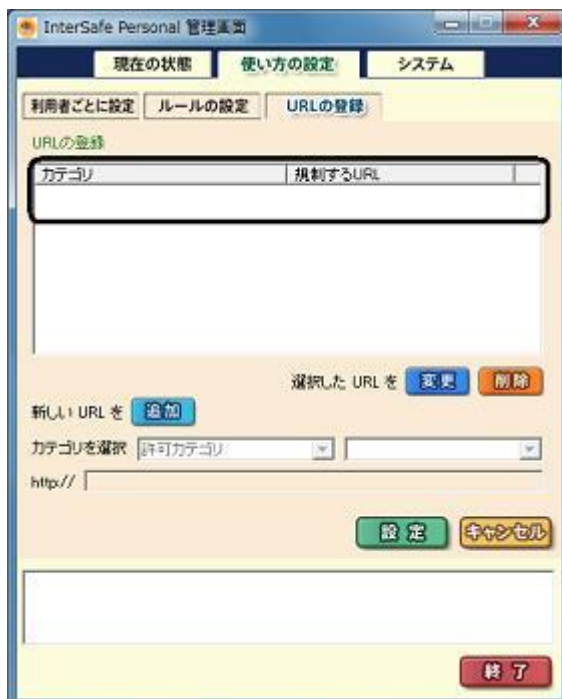
[OK]ボタンをクリックします。

図 4-2-17



5) 選択した URL が登録 URL 一覧から削除されます。

図 4-2-18



## 4-3.利用者の追加・変更・削除

### [利用者ごとに設定]画面について

[利用者ごとに設定]画面では、利用者の登録、利用者ごとのフィルタリング設定などが行えます。

初期設定では、「認証なし」という名前の利用者が登録されています。

- 「認証なし」の登録内容は、「すべての曜日・時間帯に、「子ども」用フィルタリングを使用する」になっています。また、パスワードが設定されていません。

### ■ [使い方の設定]画面 - [利用者ごとに設定]画面

図 4-3-1

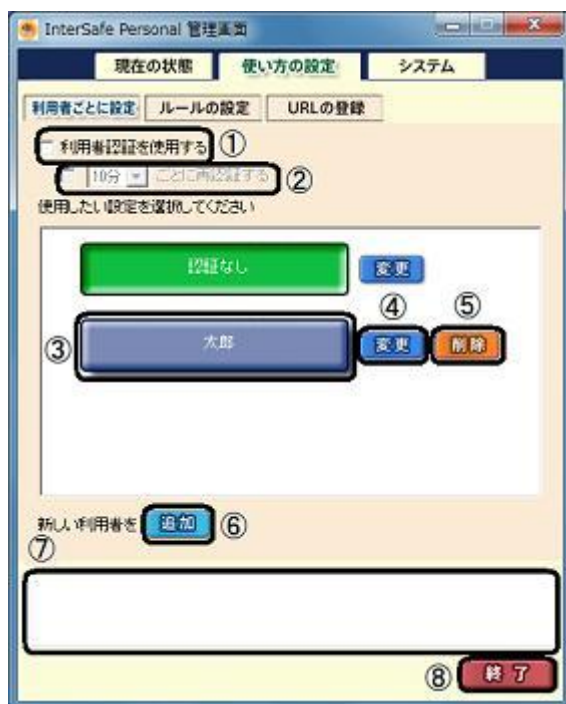


表 4-3-1

No.	項目	説明	初期設定
①	利用者認証設定	複数の利用者ごとのフィルタリング設定を有効にする場合に設定します。	無効
②	再認証設定	利用者認証を使用して、再認証設定を有効にする場合に設定します。 リストボックス[10分、20分、30分、60分]	無効 (10分)
③	利用者ボタン	利用者ボタンをクリックして、使用する利用者ごとのフィルタリングを有効にします。	認証なし
④	[変更]	変更の場合クリックすると、画面が切り替わります。(54 ページ参照)	—
⑤	[削除]	登録した利用者を削除します。	—
⑥	[追加]	追加の場合クリックすると、画面が切り替わります。(50 ページ参照)	—
⑦	コメント欄	設定内容、項目・画面の説明を表示します。	—
⑧	[終了]	管理画面を閉じます。	—

### [利用者ごとに設定]画面で操作できる処理

- ・ 利用者の切り替え(「利用者を切り替えて使用する」 57 ページ参照)
- ・ 利用者の登録、利用者ごとのフィルタリング設定の変更(「利用者を追加する」 50 ページ参照)
- ・ 利用者の削除(「利用者を削除する」 56 ページ参照)
- ・ 管理画面の終了

## 利用者を追加する

初期設定の利用者「認証なし」とは別に、新しい利用者を登録する方法をご説明します。

- 1) [使い方の設定]画面-[利用者ごとに設定]画面の[追加]ボタンをクリックします。

図 4-3-2



- 2) 利用者の詳細を設定する画面に切り替わります。

[名前]ボックスに、登録する利用者の名前を入力します。

図 4-3-3



表 4-3-2

項目	説明
名前	半角 20 文字、または全角 10 文字以内
パスワード	0 文字(未入力)から半角 12 文字まで

- 3) フィルタリングルールを、[フィルタリングルール]リストボックスから選択します。

図 4-3-4



- リストにないフィルタリングルールを設定したい場合は、新しいフィルタリングルール追加(32 ページ参照)でフィルタリングルールを作成します。

- 4) スケジュールを設定する場合は、[詳細設定]ボタンをクリックし、「詳細設定」ダイアログを表示します。

特に設定を行わない場合は、手順"6)"へ進みます。この場合は、すべての曜日・時間帯においてフィルタリングが有効に設定されます。

図 4-3-5



5) 「詳細設定」ダイアログで、以下の設定を行い、[設定]ボタンをクリックします。

図 4-3-6



表 4-3-3

No.	項目	説明	初期設定
①	「月」～「日」チェック	スケジュールを設定する「曜日」チェックボックスをオンにします。	—
②	「開始: 時」 / 「開始: 分」	スケジュールの開始時間(時) / (分)をリストボックスから選択します。 時: 0～24 分: 10,20,30,40,50	0時0分
③	「終了: 時」 / 「終了: 分」	スケジュールの終了時間(時) / (分)をリストボックスから選択します。 時: 0～24 分: 10,20,30,40,50	0時0分
④	[状態]	「フィルタリング有効」、「フィルタリング無効」、または「Web 閲覧禁止」のいずれかを選択します	—
⑤	[設定]	ボタンをクリックすると、設定したスケジュールが画面に表示されます。	—

・ [設定]ボタンクリック後

図 4-3-7



● 複数の状態を設定する場合は、[設定]ボタンをクリック後手順 "4)"、および手順 "5)" を再度行います。

- 6) 設定内容を確認し、「設定」ボタンをクリックします。

図 4-3-8



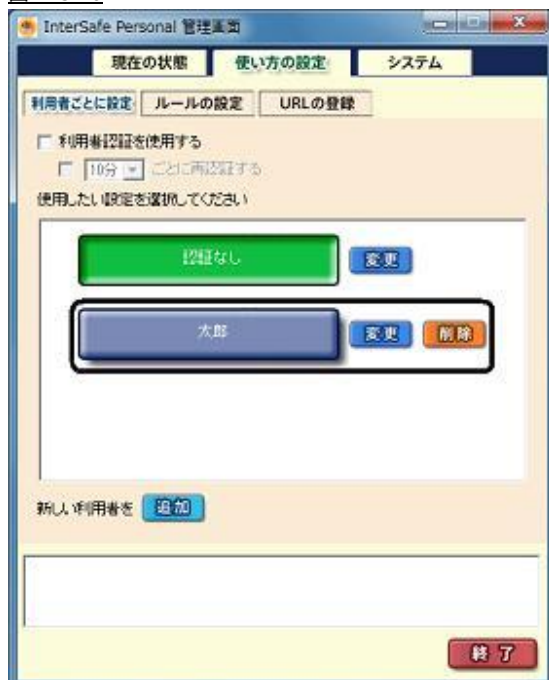
- 7) 「設定」ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。  
「OK」ボタンをクリックします。

図 4-3-9



- 8) 画面が切り替わり、手順“2)”で設定した利用者名のボタンが追加されます。

図 4-3-10

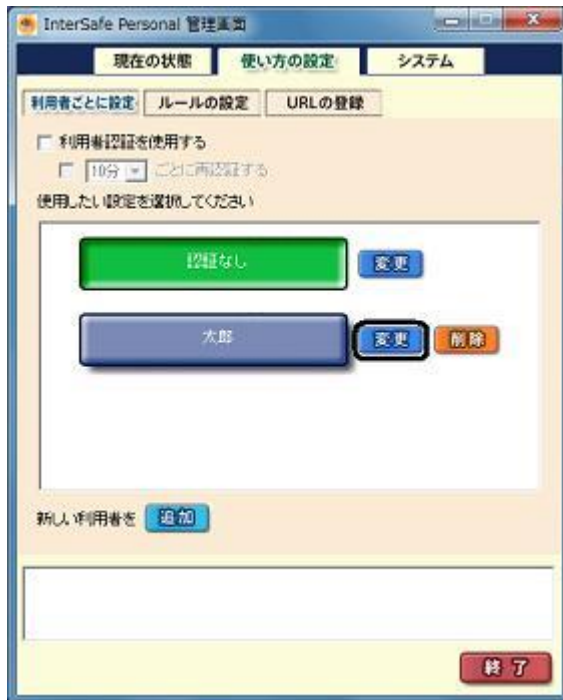




## 利用者の設定を変更する

- 1) 設定内容を変更する利用者名横の[変更]ボタンをクリックします。

図 4-3-11



- 2) 利用者の詳細を設定する画面に切り替わります。

「利用者を追加する」(50 ページ参照)の手順“2)” から手順“6)” と同様の手順で必要な変更を設定します。

例) 月～金の 22 時～24 時まで「Web 閲覧禁止」に設定(図 4-3-12)を、

月～日の 22 時～24 時と 0 時～5 時 30 分までを「Web 閲覧禁止」に設定変更(図 4-3-13)する。

・変更前

図 4-3-12



・変更後

図 4-3-13



- [詳細設定]ダイアログ(52 ページ 図 4-3-6 参照)では、設定済みの内容を再び表示することはできません。設定済みの内容を変更するには、再度[詳細設定]ダイアログ内で、再設定する必要があります。

- 3) 設定内容を確認し、「設定」ボタンをクリックします。

図 4-3-14



- 4) 「設定」ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。

「OK」ボタンをクリックします。

図 4-3-15

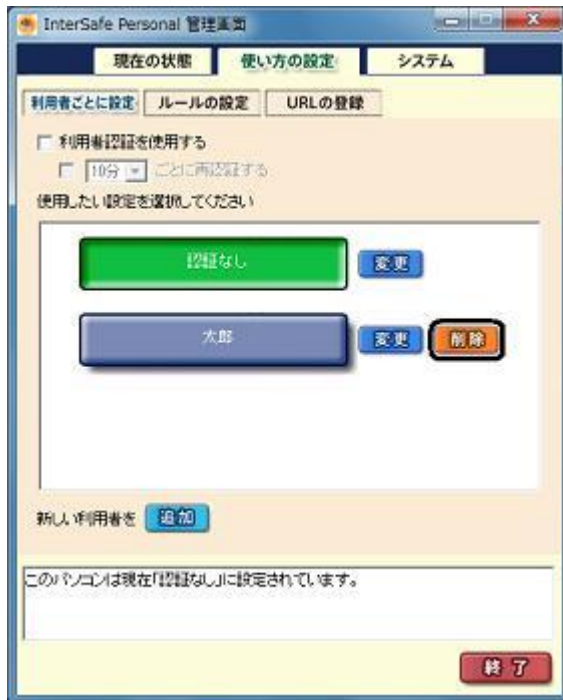




## 利用者を削除する

- 1) 削除する利用者名横の[削除]ボタンをクリックします。

図 4-3-16



- [認証なし]は削除することができません。

- 2) 利用者削除の確認メッセージが表示されます。

[はい]ボタンをクリックします。

図 4-3-17



- 利用者削除の確認メッセージ(図 4-3-17)で、[いいえ]ボタンをクリックすると削除処理を中止します。

- 3) 確認メッセージが表示されます。

[OK]ボタンをクリックします。

図 4-3-18



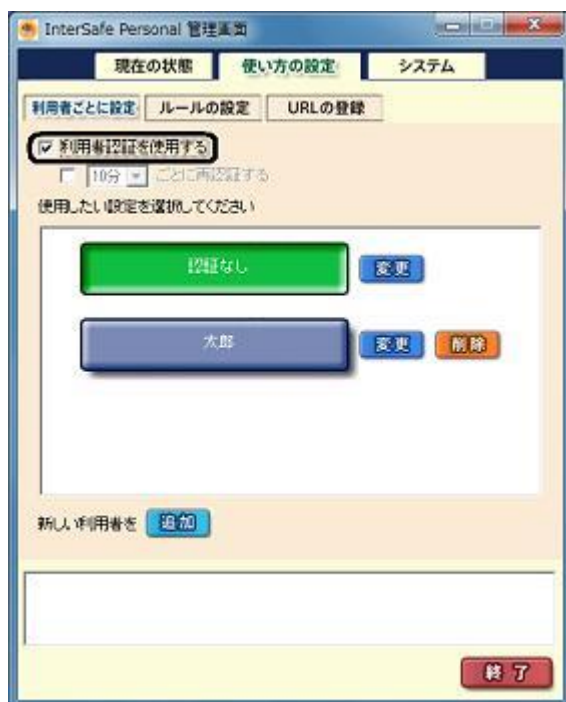
## 4-4.利用者を切り替えて使用する

### 利用者認証の設定

複数の利用者ごとに登録したフィルタリング設定を使い分けるためには、どの利用者が Web 閲覧を行うか確認する「利用者認証」機能を使用します。

- 1) [使い方の設定]画面-[利用者ごとに設定]画面の[利用者認証を使用する]チェックボックスをオンにします。

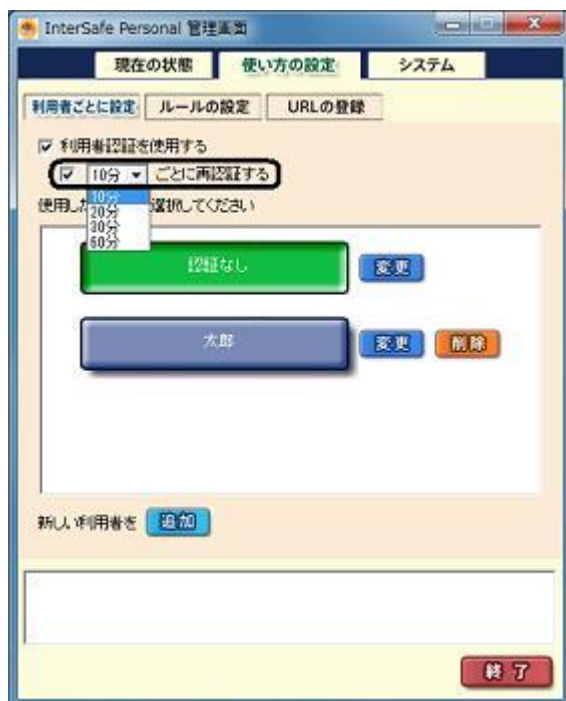
図 4-4-1



- 利用者が「認証なし」のみで、他の利用者が登録されていない場合は、[利用者認証を使用する]チェックボックスを設定することはできません。

- 2) 再認証機能を使用する場合は、「一分ごとに再認証する」チェックボックスをオンにし、「分数」リストボックスから再認証を行う間隔(分数)を選択します。

図 4-4-2



- 再認証を行わない場合は、パソコンの再起動、またはログオフまで最初に認証した利用者のフィルタリング設定が有効となります。

## 管理画面から利用者を切り替える

複数の利用者ごとに登録したフィルタリング設定を使い分けることができます。

[使い方の設定]画面-[利用者ごとに設定]画面にて、使用する利用者名のボタンをクリックします。

例) [認証なし]から[太郎]に利用者を変更

図 4-4-3

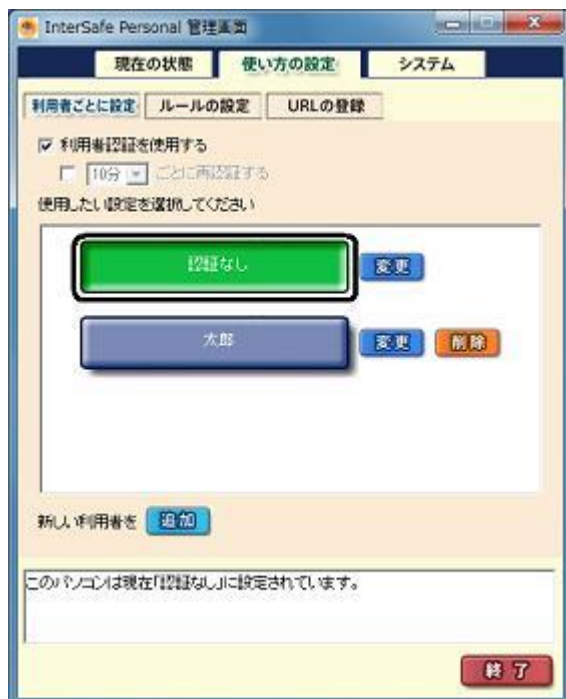
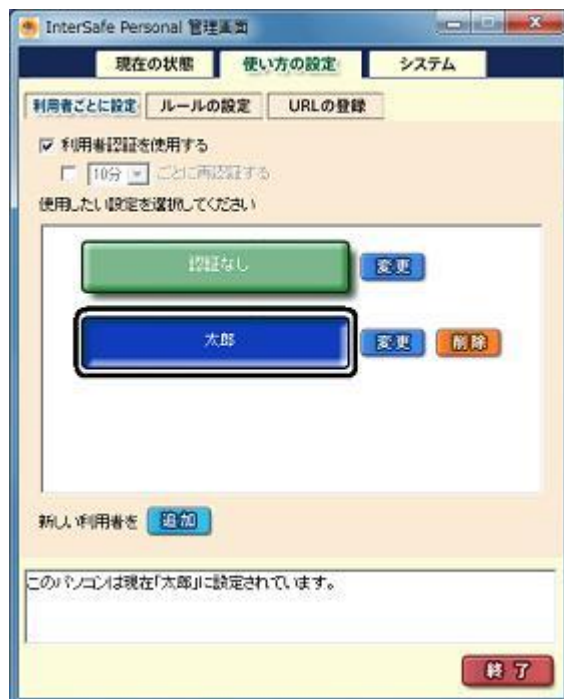


図 4-4-4

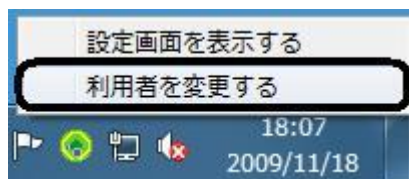


- パソコンの再起動、またはログオフまで、ここで選択した利用者のフィルタリング設定が有効になります。

## タスクトレイのアイコンから利用者を切り替える

1) タスクトレイに表示された InterSafe Personal アイコンを右クリックして表示される「利用者を変更する」を選択します。

図 4-4-5



● タスクトレイに InterSafe Personal アイコンが表示されていない場合は、[スタート] → [プログラム] ([すべてのプログラム]) → [InterSafe Personal] → [管理画面]を選択します。

2) 画面に表示された「利用者認証」ダイアログで、[利用者名]リストボックスから利用者名を選択し、[パスワード]ボックスにパスワードを入力します。最後に、[認証]ボタンをクリックします。

図 4-4-6



● [認証なし]ボタンをクリックした場合は、認証は行われず、「認証なし」に設定された内容で Web 閲覧を行う設定となります。

● パソコンの再起動、またはログオフまで、ここで選択した利用者のフィルタリング設定が有効になります。

## 「利用者認証」ダイアログで利用者を切り替える

パソコンを使用中に画面に表示された「利用者認証」ダイアログで、[利用者名]リストボックスから利用者名を選択し、[パスワード]ボックスにパスワードを入力します。最後に、[認証]ボタンをクリックします。

図 4-4-7



● [認証なし]ボタンをクリックした場合は、認証は行われず、「認証なし」に設定された内容で Web 閲覧を行う設定となります。

● パソコンの再起動、またはログオフまで、ここで選択した利用者のフィルタリング設定が有効になります。

# 5

## 5.[システム]画面

---

ここでは、[システム]画面についてご説明します。

● [システム設定]画面について	<b>61</b>
[システム]画面で操作できる処理	61
HTTP プロキシサーバの設定	62
Web アクセス履歴設定	63
Web アクセス履歴の表示	64
Web アクセス履歴から URL を登録する	65
Web アクセス履歴から URL を変更する	66
自動起動設定の変更	66
● 管理画面パスワードの変更	<b>68</b>
[認証設定]画面について	68
パスワード設定変更	69
● [サポート情報]画面について	<b>70</b>

## 5-1.[システム設定]画面について

[システム設定]画面では、ご利用のパソコンの環境に応じて、接続設定、自動起動設定を変更することができます。

### ■ [システム]画面 - [システム設定]画面

図 5-1-1

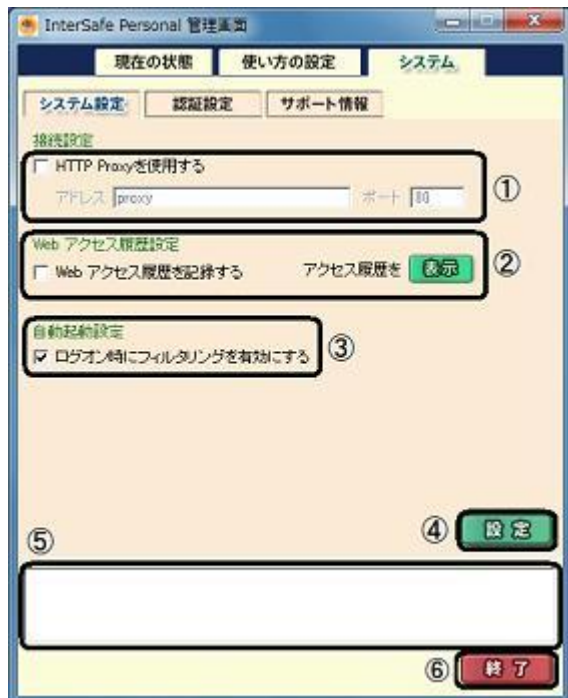


表 5-1-1

No.	項目	説明	初期設定
①	接続設定	HTTP プロキシサーバをご利用の場合に設定します。	無効 アドレス: proxy ポート: 80
②	Webアクセス履歴設定	Web アクセスの履歴について設定します。	無効
③	自動起動設定	ログオン時、自動的にフィルタリングを開始するように設定できます。	有効
④	[設定]	[システム設定]画面の内容を設定します。	—
⑤	コメント欄	設定内容、項目・画面の説明を表示します。	—
⑥	[終了]	管理画面を閉じます。	—

### [システム設定]画面で操作できる処理

- ・ 接続設定 : HTTP プロキシサーバの設定(「HTTP プロキシサーバの設定」62 ページ参照)
- ・ 自動起動設定(「自動起動設定の変更」66 ページ参照)
- ・ 管理画面の終了

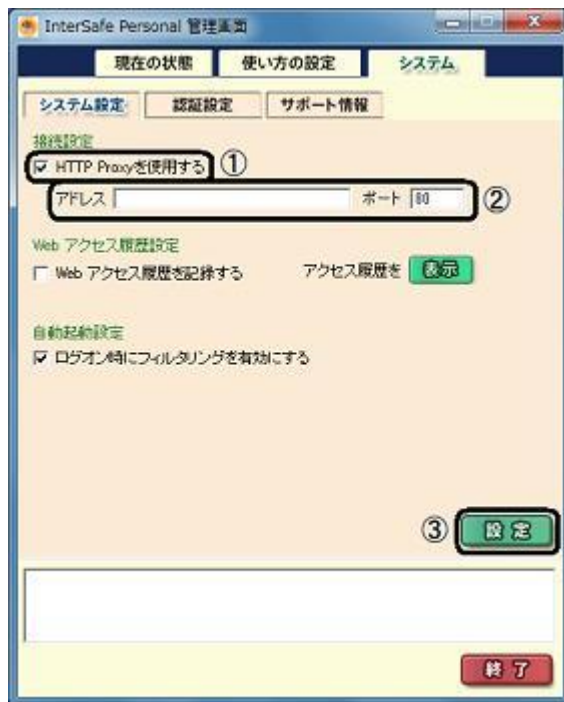
## HTTP プロキシサーバの設定

- ① HTTP プロキシサーバを使用する場合は、[HTTP Proxy を使用する]チェックボックスをオンにします。
- ② [アドレス]ボックスに HTTP サーバの IP アドレス、またはホスト名(名前解決が可能な場合のみ)を入力し、[ポート]ボックスに使用するポート番号を入力します。

表 5-1-2

項目	説明
アドレス	IP アドレスまたは、ホスト名(名前解決が可能な場合のみ) 半角文字 128 文字
ポート	使用するポート番号を入力。 半角数字 1~65535 まで

図 5-1-2



- HTTP プロキシサーバを使用しない場合は、[HTTP Proxy を使用する]チェックボックスを再度クリックしてオフにします(初期設定では、HTTP プロキシサーバは無効に設定されています)。

- ③ 設定ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。  
[OK]ボタンをクリックします。

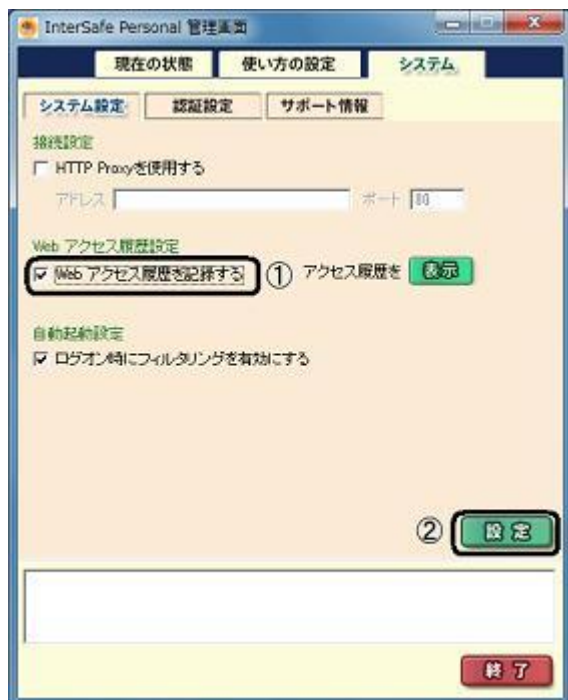
図 5-1-3



## Web アクセス履歴設定

- ① Web アクセス履歴を記録する場合は、[Web アクセス履歴を記録する]チェックボックスをオンにします。
  - [Web アクセス履歴を記録する]チェックボックスをオンにすると、過去 7 日間の履歴を記録が保存されます。
- ② 設定内容を確認して、[設定]ボタンをクリックします。

図 5-1-4



- ③ 設定ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。  
[OK]ボタンをクリックします。

図 5-1-5



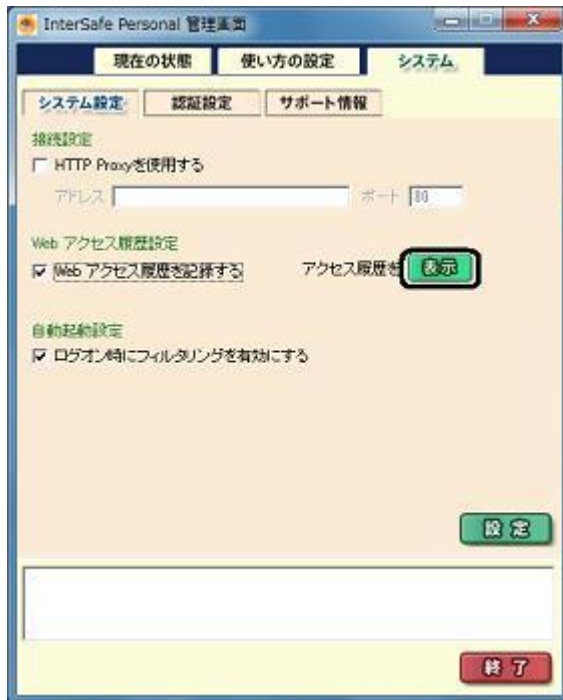
- Web アクセス履歴を記録しない場合は、[Web アクセス履歴を記録する]チェックボックスを再度クリックしてオフにします(初期設定では、Web アクセス履歴の記録は無効に設定されています)。



## Web アクセス履歴の表示

- 1) [Web アクセス履歴を記録する]チェックボックス横の[表示]ボタンをクリックします。

図 5-1-6



- 2) 「Web アクセス履歴」画面が表示されます。
- 3) Web アクセス履歴を表示する開始日と終了日をリストボックスから選択し、利用者を特定する場合は、利用者を選択します。  
[表示]ボタンをクリックします。

図 5-1-7



- 4) Web アクセス履歴が表示されます。
- 5) 終了するときは、メニューバーの[ファイル] → [アプリケーションの終了]、または画面右上の[×]ボタンから終了してください。

## ■ 「Web アクセス履歴」画面の操作

「Web アクセス履歴」画面では、以下の操作も行うことができます。

- ・ 表の項目をクリックして、Web アクセス履歴を並べ替える

図 5-1-8

日時	利用者	メインカテゴリ >> サブカテゴリ	状態	URL
----	-----	-------------------	----	-----

- ・ 表内[URL]の右側にある、[登録]ボタン、または[変更]ボタンをクリックすると表示されるダイアログで、フィルタリングルールのカテゴリを指定して、選択した URL を登録する(「Web アクセス履歴から URL を登録する」、「Web アクセス履歴から URL を変更する」 65 ページ参照)。

## Web アクセス履歴から URL を登録する

- 1) Web アクセス履歴から、カテゴリに登録する URL の横の[登録]ボタンをクリックします。

図 5-1-9



- 2) [登録]ダイアログが表示されます。

リストボックスから URL を登録するカテゴリ、およびサブカテゴリを選択し、[登録]ボタンをクリックします。

- ・ 登録前の設定

図 5-1-10



- ・ 登録後の設定

図 5-1-11



- [登録]ダイアログの[URL]ボックスに表示された URL は、変更することができます。

- 3) メッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

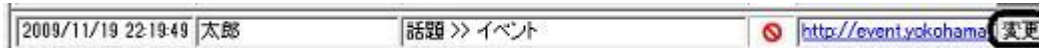
図 5-1-12



## Web アクセス履歴から URL を変更する

- 1) Web アクセス履歴から、カテゴリを変更する URL の横の[変更]ボタンをクリックします。

図 5-1-13



- 2) [変更]ダイアログが表示されます。

リストボックスから、変更するカテゴリ、およびサブカテゴリを選択し、[変更]ボタンをクリックします。

- ・ 変更前の設定

図 5-1-14



- ・ 変更後の設定

図 5-1-15



- [登録]ダイアログの[URL]ボックスに表示された URL は、変更することができます。

- 3) メッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

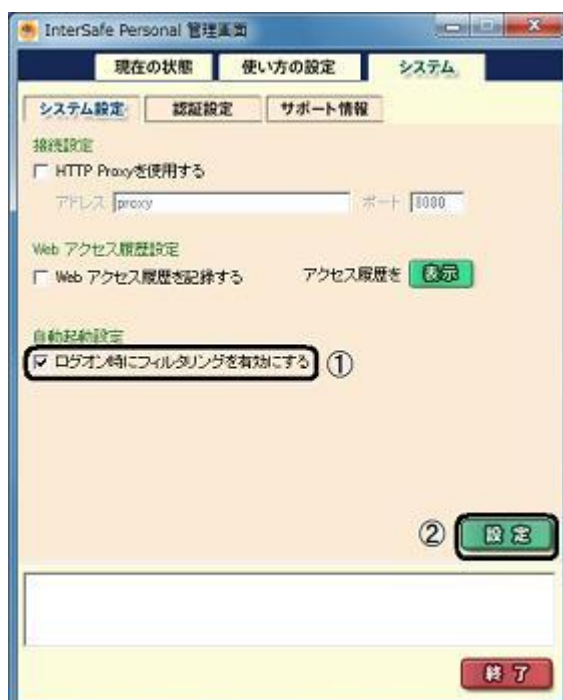
図 5-1-16



## 自動起動設定の変更

- ① 自動起動を設定する場合は、[ログオン起動時にフィルタリングを有効にする]チェックボックスをオンにします。
- ② 設定内容を確認して、[設定]ボタンをクリックします。

図 5-1-17



- [ログオン時にフィルタリングを有効にする]が選択されている場合、パソコンを起動すると自動的に[現在の状態]画面の[ON]ボタンがクリックされた状態(フィルタリング開始状態)になります。
- [ログオン時にフィルタリングを有効にする]が選択されていない場合、パソコンを起動すると自動的に[現在の状態]画面の[OFF]ボタンがクリックされた状態(フィルタリング終了状態)になります。
- [現在の状態]画面については、「[現在の状態]画面」を 24 ページ参照してください。

③ メッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

図 5-1-18



## 5-2.管理画面パスワードの変更

### [認証設定]画面について

[認証設定]画面では、管理画面パスワードを変更することができます。

#### ■ [システム]画面 - [認証設定]画面

図 5-2-1

表 5-2-1

No.	項目	説明
①	現在のパスワード	パスワードの変更権限を持つ現在の管理パスワードを入力します。
②	変更後のパスワード	新しく設定するパスワードを入力します。
③	変更後のパスワードを再入力	新しく設定するパスワードを再入力します。
④	[設定]	[認証設定]画面の内容を設定します。
⑤	コメント欄	項目・画面の説明を表示します。
⑥	[終了]	管理画面を閉じます

## パスワード設定変更

- ① [パスワードを変更するために現在のパスワードを入力]に、現在使用している管理画面パスワードを入力します。
  - 入力したパスワードはアスタリスク(\*)で表示されます。
- ② [変更後のパスワード]に、新しく変更するパスワードを入力します。
  - 半角6文字以上12文字以内で入力します。
- ③ [変更後のパスワードを再入力]に、新しく変更するパスワードを再入力します。
- ④ [設定]をクリックします。

図 5-2-2

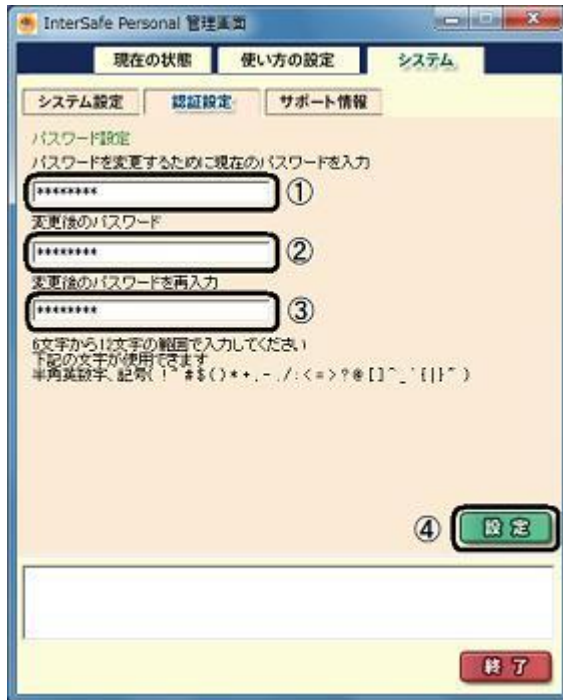


表 5-2-2

項目	利用可能文字
パスワード	半角英数字、記号 (!\"#\$()*+,-./:<=>?@[^_`{ }~)

- ⑤ 設定ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されます。  
[OK]ボタンをクリックします。

図 5-2-3



## 5-3.[サポート情報]画面について

[サポート情報]画面では、サポート情報を表示、確認することができます。

### ■ [システム]画面 - [サポート情報]画面

図 5-3-1



表 5-3-1

No.	項目	説明
①	終了	管理画面を閉じます。

# 6

## 6.よくある質問

---

ここでは、InterSafe Personal のお問い合わせの多い質問などをまとめました。

- 一般的な質問 72
- 機能に関する質問 73
- その他の質問 75



---

## 6-1.一般的な質問

**Q**：どのような項目をファイリングしているのですか？

**A**：71 のカテゴリに該当するサイトをフィルタリング可能です(「初期設定のフィルタリングルール」28 ページ参照)。日本の法令や文化、流行、お客さまからのご要望を元に独自の基準による分類方式を採用しています。単に有害なサイトだけではなく、各ご家庭でのインターネット利用に不必要と思われるサイトをフィルタリングできるようなカテゴリをご用意しております。

**Q**：データベースをダウンロードする必要はありますか？

**A**：InterSafe Personal では Lookup システムという独自の方式を採用しており、フィルタリング対象の URL データベースはインターネット上に存在し、常に最新情報が使用されています。ご利用のパソコンにデータベースをダウンロードする必要はありません。Lookup サーバ側のデータベースは一定間隔で自動更新され、常に最新の状態になっています。

**Q**：規制をかけずにインターネット上の Web ページを閲覧することはできますか？

**A**：保護者が事前に設定したパスワードを入力すると、フィルタリングサービスの ON / OFF を切り替えることが可能です。

**Q**：子どもに勝手に設定の変更や、プログラムの削除をされてしまうのではないのでしょうか？

**A**：設定の変更、プログラムの停止、プログラムの削除には、すべて保護者が事前に設定したパスワードが必要になります。

**Q**：どうしても見たいサイトがフィルタリングされてしまったり、見せたくないサイトが表示されたりすることがあります。データベースにサイト情報を追加、削除することは可能でしょうか？

**A**：パスワードを入力し管理画面を表示し、[使い方の設定]画面から許可する URL のリストや、フィルタリング対象にする URL のリストを追加することが可能です。各ご家庭のアクセスポリシーに応じてご利用ください。また、追加可能な URL の登録数は、許可する URL を含めて最大 100 個です。

**Q**：パスワードを忘れてしまった場合は、どうすればよいですか？

**A**：InterSafe Personal 管理画面 [システム]画面-[サポート情報]画面(70 ページ参照)に表示されている、お問い合わせ先までご連絡ください。またはご購入先の担当窓口へご確認ください。

**Q**：メインカテゴリとサブカテゴリの関係を教えてください。

**A**：InterSafe Personal のカテゴリは、24 のメインカテゴリと、71 のサブカテゴリの 2 階層で構成され、各メインカテゴリには 1 つ以上のサブカテゴリが含まれます。フィルタリングルールは、サブカテゴリごとに設定を行うことができます。メインカテゴリに対して設定を行った場合には、含まれるすべてのサブカテゴリに設定が反映されます。

**Q**：Windows の制限付きユーザでも利用できますか？また、管理者ユーザとの操作上の違いはどのような点ですか？

**A**：Windows の制限付きユーザでもフィルタリングサービスはご利用いただけます。

管理画面の起動( 設定の変更、フィルタリングサービスの ON/OFF)、InterSafe Personal のインストール/ アンインストールを行う場合には、管理者ユーザでログオンする必要があります。

## 6-2.機能に関する質問

**Q** : ブラウザからのファイルのダウンロードをフィルタリングすることは可能ですか？また可能である場合、対応するプロトコルは何ですか？

**A** : フィルタリング対象プロトコルは HTTP のみです。HTTP プロトコルを使用してアクセスする場合には、ブラウザやソフトウェアの種類にかかわらず、フィルタリングすることが可能です。

**Q** : フィルタリングサービスの動作状況を確認するには、どうすればよいですか？

**A** : フィルタリングサービスの ON/OFF によって、タスクトレイのアイコンが、図 6-2-1 のように変更されます。また、アイコン上にマウスを移動すると、現在適用されているポリシー名がポップアップで表示(図 6-2-2)されます。

適用されているポリシーの詳細を確認するには、管理画面を起動する必要があります。

図 6-2-1



図 6-2-2



**Q** : あるサイトにアクセスした際、別ウィンドウで表示される広告や、ページの一部にアダルト画像が貼り付けられていた場合などは、どのように動作するのでしょうか？

**A** : ベースとなるフレームセットのページがフィルタリング対象であった場合、ページ自体が表示されませんが、外部へのリンクなどで一部のフレームのみがフィルタリング対象となる場合、該当のフレームのみが規制画面になります。また、バナーなど画像ファイルのみがフィルタリング対象リンク先の場合、その画像だけが表示されません(Microsoft Internet Explorer の場合は、×マークが表示されます)。独立したポップアップウィンドウの場合も同様の考え方になります。

**Q** : 保護者用のパスワードを変更することは可能ですか？

**A** : クライアントの設定画面より、パスワードの変更が可能です。

パスワードを変更する場合には、インターネットへの接続が必要です。なお、パスワードは半角 6 文字以上、12 文字以下の英数字を指定してください。

**Q** : 家族の中で別々のアクセスポリシーを設定することはできますか？

**A** : ご家族を InterSafe Personal の利用者として登録し、個々のフィルタリングルールを設定することができます。

**Q** : アクセス履歴やフィルタリング結果を確認することはできますか？

**A** : 管理画面の[システム]画面-[システム設定]画面で Web アクセス履歴を記録する設定を行うと、アクセス履歴、フィルタリング結果を記録し、後から確認することができます。

**Q** : 投稿規制とはどのような機能ですか？また、有効な使用法はありますか？

**A** : 投稿規制に設定したカテゴリに登録されている Web サイトは、通常の Web 閲覧は可能ですが、64byte 以上のデータの送信が規制されます。

掲示板サイトを投稿規制に設定すると、記事の閲覧は可能ですが、掲示板への投稿ができなくなります。

ショッピングサイトの場合にも、商品の閲覧は可能ですが、購入時に個人情報などの送信が規制されます。

**Q**：過去に閲覧したサイトを規制、または許可するようにできますか？

**A**：Web 閲覧履歴から規制したい、または、許可したいサイトを選択し、例外 URL に登録することが可能です。

**Q**：ログファイルをエクスポートすることは可能ですか？

**A**：現在のバージョンでは、ログファイルのエクスポート機能はありません。

ログファイルは、管理画面から Web アクセス履歴を表示する場合のみ確認が可能です。

**Q**：カテゴリの「ユーザ設定」とは何ですか？効果的な活用方法を教えてください。

**A**：InterSafe Personal に設定されているカテゴリのいずれにも属さないサイトを例外 URL に登録する際にご利用ください。

**Q**：現在使用している製品のバージョンは確認できますか？

**A**：[システム]画面-[サポート情報]画面に現在の製品のバージョン、ビルド番号、登録されているシリアル番号が表示されます。

**Q**：深夜にインターネットを利用できないようにすることは可能ですか？

**A**：フィルタリングスケジュールとして、Web 閲覧禁止に設定することで、特定の時間帯のインターネットの利用を制限することができます。

**Q**：フィルタリング有効 / フィルタリング無効 / Web 閲覧禁止の各状態について教えてください。

**A**：フィルタリング有効に設定すると、設定されているフィルタリングルールに従って、フィルタリングが行われます。

フィルタリング無効に設定すると、フィルタリングルールによらず、すべての Web サイトの閲覧ができます。

Web 閲覧禁止に設定すると、フィルタリングルールによらず、すべての Web サイトの閲覧が禁止されます。

**Q**：[現在の状態]タブの ON/OFF と、利用者のフィルタリングスケジュールのフィルタリング有効 / フィルタリング無効 / Web 閲覧禁止の違いを教えてください。

**A**：利用者ごとのフィルタリングルール、フィルタリングスケジュールの設定は、フィルタリングサービスが ON の場合にのみ有効になります。

フィルタリングサービスを OFF にした場合には、設定によらず、すべての Web サイトの閲覧が可能になります。

**Q**：ログオン時にフィルタリングを使用しないようにできますか？

**A**：[システム設定]画面で、自動起動設定を OFF にすると、ログオン時にフィルタリングサービスは OFF になります。

---

## 6-3.その他の質問

**Q**：ルータのファイアウォール機能を使用しています。フィルタリングサービスを利用する際、変更などは必要でしょうか？

**A**：InterSafe Personalのフィルタリングサービスでは、データベースへの問い合わせに、通常のWebアクセスと同じポートを使用しております。従ってファイアウォールなどをご利用いただいている場合でも、特別な設定は必要ありません。

**Q**：他のURLフィルタリング製品で設定していた規制リストをインポートすることは可能ですか？

**A**：できません。規制対象にしたいURLは、[使い方の設定]で個々に登録していただきますようお願いいたします。

**Q**：サービスを利用することでWebの閲覧速度が遅くなったりすることはないのでしょくか？

**A**：Webの表示前に規制有無を確認するため、画像が多く貼り付けられたページなどでは若干表示速度が遅くなる場合があります。しかし、規制有無の確認には100分の3~4秒程度の時間しか要さないため、通常の閲覧において明らかに遅くなったと感じることはありません。

**Q**：パソコンを買い換えた場合にはどうすればよいですか？

**A**：新しいパソコンにInterSafe Personalを再度インストールしてください。ご契約時にご案内したシリアル番号と、これまでにご利用のパスワードを入力することで、新しいパソコンでInterSafe Personalをご利用いただけます。

## **InterSafe Personal v2.3 ユーザーズガイド**

---

2015年10月 第5版

作成/発行/企画 アルプスシステムインテグレーション株式会社

〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町 1-7

※記載されている会社名および商品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

---

- ・本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容の一部、または全部を無断で転載、あるいは複写することを禁じます。
- ・本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一記載に誤りや不完全な点がありましたらご容赦下さい。